

令和3年度使用

中学校教科用図書、
小・中学校特別支援学級及び
特別支援学校（小・中学部）教科用図書

採 択 基 準

選 定 資 料

令和2年6月

奈良県教育委員会

令和3年度使用中学校教科用図書、
小・中学校特別支援学級及び特別支援学校（小・中学部）教科用図書
採 択 基 準

1 市町村立中学校で使用する検定教科書の採択

(1) 採択に当たって

- ア 市町村教育委員会はその責任の下に、採択の方針、手順等を明確にし、採択事務の適正化を図ること。
- イ 県教育委員会の行う指導及び助言又は援助に基づいて行うこと。
- ウ 採択地区に二つ以上の町村がある場合には、構成町村の教育委員会が共同して、採択のための協議会（以下「採択地区協議会」という。）を組織すること。
- エ 各採択地区においては、選定のための委員会（以下「選定委員会」という。）を組織すること。

(2) 採択を適正かつ公正に行うため

- ア 教科の目標や内容、児童生徒や地域の実態等を考慮し、市町村教育委員会の判断と責任により、最も適切なものを採択すること。
- イ 採択決定に当たっては、おおむね次の経過をたどることとし、その方法や手続きを工夫すること。
 - ① 選定委員会は、教科書に関する調査研究を行う際には、令和2年度に県教育委員会が示す選定資料を十分参考にすること。
 - ② 市町村教育委員会は、種目ごとに1種の教科書を採択すること。
 - ③ 採択地区協議会は、種目ごとに1種の教科書を選定すること。また、採択地区協議会を構成する町村の教育委員会は、その採択地区協議会において選定された教科書を採択すること。

2 県立中学校で使用する検定教科書の選定

(1) 選定に当たって

県立中学校において使用する検定教科書の選定については、生徒や地域の実態等を考慮し、次の項目について学習指導要領の目標等を踏まえ、各教科書の違いが明瞭に分かるように調査研究の上選定すること。

ア 内容

イ 構成上の工夫

(2) 選定を適正かつ公正に行うため

ア 選定に当たっては、おおむね次の経過をたどることとし、その方法や手続きを工夫すること。

- ① 県立中学校において教科書に関する調査研究を行う際には、令和2年度に県教育委員会が示す選定資料を十分参考にすること。
- ② 県立中学校においては、種目ごとに1種の教科書を選定すること。

3 国立・私立の中学校で使用する検定教科書の採択

採択に当たっては、その適正かつ公正を期すため、各学校長の責任において次の手続きによるものとする。

- (1) 教科書に関する調査研究を行う際には、令和2年度に県教育委員会が示す選定資料を十分参考にすること。
- (2) 調査研究の結果等に基づき、種目ごとに1種の教科書を採択すること。なお、「特別の教科 道徳」に代えて宗教を教育課程に編成する私立の中学校については、「特別の教科 道徳」の教科書の採択を行う必要はないことに留意すること。

4 小・中学校特別支援学級において使用する教科用図書の採択

(1) 検定教科書の採択について

小・中学校特別支援学級において使用する検定教科書の採択については、当該採択地区（国立・私立にあっては各学校）で採択されている検定教科書と同一のものを採択すること。

(2) 学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書の採択について

特別の教育課程を編成し、教科により当該学年用の検定教科書を使用することが適当でない場合には、学校教育法附則第9条第1項の規定による、教科の主たる教材として教育目標の達成上適切な図書（以下「一般図書」という。）を採択すること。一般図書の採択に当たっては、文部科学省の検定を経た下学年用教科書又は文部科学省著作教科書の採択を十分考慮すること。また、特別支援学校知的障害者用の文部科学省著作教科書のある教科は、なるべくこれを採択すること。

その上で、これら以外の図書を採択する場合には、県教育委員会の示す選定資料を参考にして十分な調査研究を行い、適正かつ公正に行うこと。その際には、絶版についても確認し、特に慎重を期して採択すること。

5 特別支援学校（小・中学部）において使用する教科用図書の選定

(1) 検定教科書の選定について

特別支援学校（小学部）において使用する検定教科書及び特別支援学校（中学部）において使用する検定教科書の選定については、児童生徒の障害の状態や特性等を考慮し、次の項目について学習指導要領の目標等を踏まえ、各教科書の違いが明瞭に分かるように調査研究の上選定すること。

ア 内容

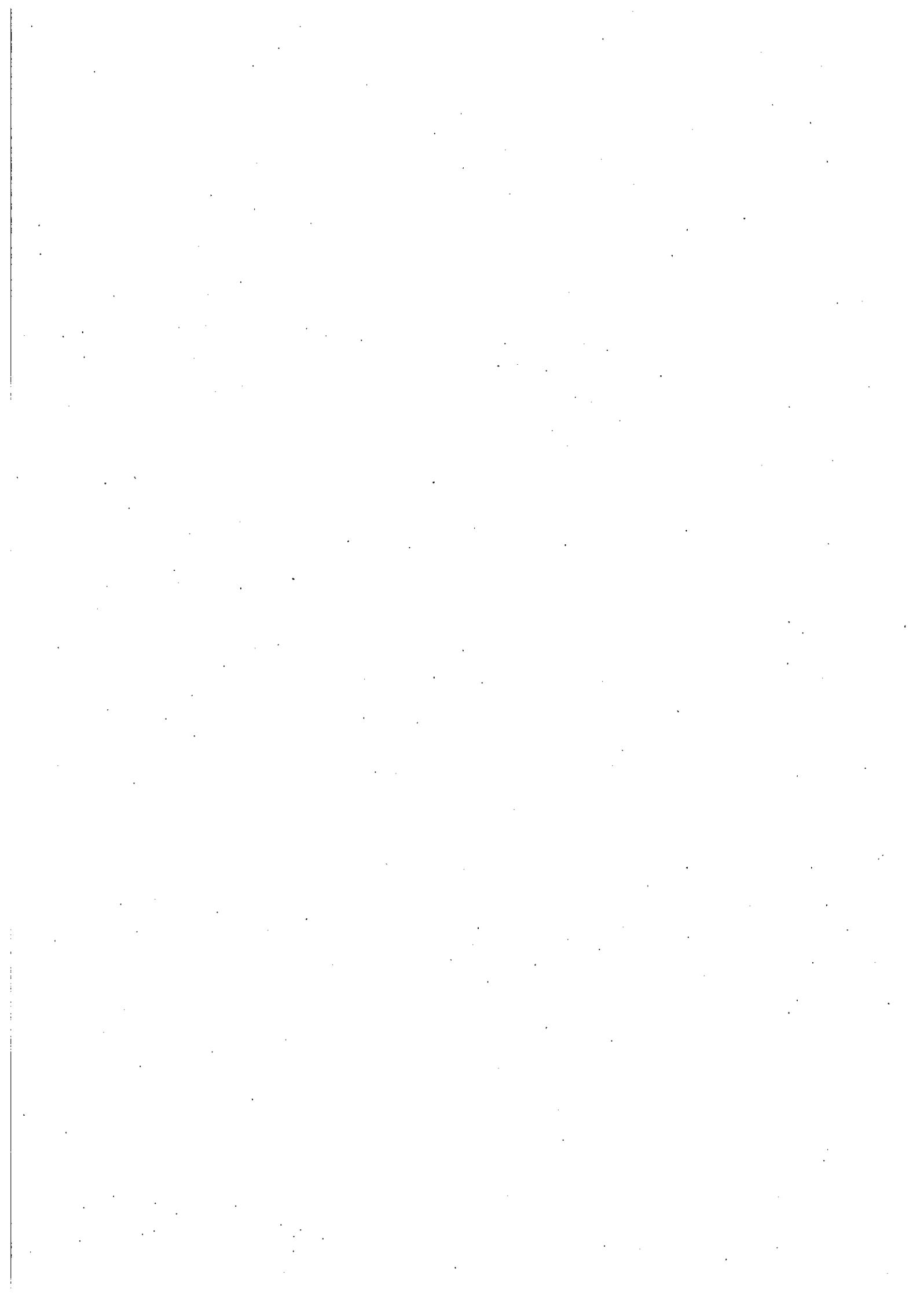
イ 構成上の工夫

(2) 学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書の選定について

教科により当該学年用の検定教科書を使用することが適当でない場合には、一般図書を選定すること。一般図書の選定に当たっては、文部科学省の検定を経た下学年用教科書又は文部科学省著作教科書の選定を十分考慮すること。また、特別支援学校知的障害者用の文部科学省著作教科書のある教科は、なるべくこれを選定すること。

その上で、これら以外の図書を選定する場合には、県教育委員会の示す選定資料を参考にして十分な調査研究を行い、適正かつ公正に行うこと。その際には、絶版についても確認し、特に慎重を期して選定すること。

選 定 資 料



国語

項目	発行者の 番号・略称	内容別配当ページ数							総 ペ ー ジ	使用上の便宜・編集上の工夫等	
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴	知識及び技能	複合	資料			その他
1年	2 東書	17	24	69	17	8	66	0	134	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5判。 ・ 本編・基礎編・資料編の三部構成であり、基礎編に「学びを支える言葉の力」を示している。 ・ 目次及び各教材の冒頭に、指導領域を示す記号を付けている。 ・ 各教材末に、身に付けた「言葉の力」を示すとともに、各巻末に3年間で学ぶ「言葉の力」一覧と「学びを支える言葉の力」を示している。 ・ 学習の参考となる資料をウェブページで閲覧できる「Dマーク」を掲載している。
		16	28	62	17	9	73	0	134	7	
		18	24	71	19	12	68	0	135	7	
1年	15 三省堂	8	25	97	28	8	65	6	113	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5判。 ・ 本編と資料編の二部構成である。 ・ 本編の目次及び各教材の冒頭に指導領域を示す記号を付けている。 ・ 各教材末に、学習の手引となる「学びの道しるべ」を設けている。 ・ 「読み方を学ぼう」では、読解に役立つスキルを図示している。 ・ 学習の参考となる資料をウェブページで閲覧できる二次元コードを掲載している。
10		23	91	21	8	78	6	113	7		
8		15	84	19	10	82	6	110	7		

項目	発行者の 番号・略称	内容別配当ページ数							総ページ	使用上の便宜・編集上の工夫等
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識及び技能		複合	資料		
					言葉の特徴	情報の扱い方	我が国の言語文化			
17 教出	1年	12	14	106	19	14	52	0	126	11
	2年	14	16	115	18	9	69	0	114	11
	3年	16	12	107	18	11	73	0	106	11
38 光村	1年	12	19	94	23	13	45	4	123	7
	2年	12	17	91	24	13	49	4	119	7
	3年	12	11	62	19	11	65	4	133	7

・ B5判。
 ・ 目次及び各教材の冒頭に、指導領域を示す記号を付けている。
 ・ 学びを高めるための問題として「学びのチャレンジ」を、また、巻末には補充教材として「言葉の自習室」を、教材の冒頭に、見通しをもつて学習を進めるための「学びナビ」を設けている。
 ・ 教材の冒頭に、見通しをもつて学習を進めるためのデジタル資料を閲覧できるウェブページを紹介する。マーカー「まなびリンク」を掲載している。

・ B5判。
 ・ 目次及び各教材の冒頭に、指導領域を示す記号を付けている。
 ・ 巻頭に、他教科や日常生活で使える思考ツールを紹介した「思考の地図」を設けている。
 ・ 各教材の冒頭に「目標」がある。
 ・ 巻末の「学習を広げる」には、指導領域別に整理された資料のほか、常用漢字表などの付録がある。
 ・ 学習の参考となる資料をウェブページで閲覧できる。二次元コードを掲載している。

	内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>2 東書</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・各教材に、学習指導要領に沿った「目標」とともに、「言葉の力」として身に付けたい力やそのための手立てなどを示し、記述式の「振り返り」を教材末に設けている。 ・各領域とも学習指導要領に示された言語活動例に基づき具体的な学習活動を系統的に配列している。 ・各教材に、対話を重ねて学びを深めるための対話例を掲載している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・新出漢字を一覧表にして筆順とともに示している。 ・「読書への招待」では近代文学の名作を取り上げている。 ・「読書案内」において、各回のテーマを設定し、名作や著名人が薦める本を紹介している。 ・資料編に「言葉を広げよう」を設け、様々な語彙を「様子」「印象」「心情」「行為」に分類して掲載している。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 〈情報教育の充実〉 ・基礎編において、「論理的な言葉の力」として、情報の整理の仕方や、情報と情報との関係の捉え方などについて掲載している。 ・本編では、「話す・聞く」「書く」「読む」「読む」の各領域において、情報に関する内容を扱っている。 〈伝統的な言語文化の充実〉 ・古典教材のほか、俳句・短歌の紹介など、伝統的な言語文化に親しむための教材や写真資料がある。 ・資料編に、古典作品や古典芸能などを紹介している。 〈その他〉 ・他教科の学習内容と関連がある教材に、教科関連マークを示している。</p>
<p>15 三省堂</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・見通しをもって学習を進めるために、各教材における学習過程を示している。 ・各領域とも、学習指導要領に示された言語活動例に基づいて、具体的な学習活動を系統的に配列している。 ・各教材の「はじめに」「学習目標」を示し、最後の「学びの道しるべ」で学習を再確認できるように構成している。 ○資料編に、思考の方法や話し合いの方法を掲載している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・資料編に「漢字字典」を設けて、画数や筆順などを掲載している。 ・教材末の「私の本棚」や「小さな図書館」で読書案内を、「私の読書体験」では作家の言葉を紹介している。 ・本編の「語彙を豊かに」で教材に関する語句を取り上げ、資料編には「語彙の広がり」を設けている。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 〈情報教育の充実〉 ・グラフや図表などの情報と、文章の内容とを関連付けて学習する教材を、各学年に設けている。 ・資料編に、「情報探しの方法」と「引用と著作権」として、情報の扱いについての解説を掲載している。 〈伝統的な言語文化の充実〉 ・古典作品を写真や絵巻とともに掲載し、「古文の読み方」やコラムのページを設けている。 ・資料編の「古典芸能に親しむ」には、写真資料を用いた解説と、古典特有のリズムをもつ作品を掲載している。 〈その他〉 ・資料編に、他教科の学習や社会生活において活用できる学習ツール等を整理して示している。</p>

	内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>17 教出</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・「話す・聞く」「書く」の教材に、見通しをもつて学習を進めるための学習過程と学習活動の重点を示している。 ・学習指導要領に示された学習活動の重点に基づく学習活動例があり、図表や写真を用いた具体的な活動例がある。 ・各教材に、学習内容を正確に把握したり読むポイントを明らかにしたりするための「学びナビ」を設けている。 ○学習の基礎となる資質・能力を育成するための工夫 ・新出漢字を、筆順とともに一覧表に示している。 ・随所に「広がる世界の」を設け、テーマに沿った本を紹介している。 ・名作などを扱った「読書への招待」を、各学年に2か所ずつ設けている。 ・学習した言葉などを、巻末に「表現に役立つ言葉」「理解に役立つ言葉」としてまとめて紹介している。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 〈情報教育の充実〉 ・各学年に、「メディアと表現」として情報モラルやメディアリテラシーを解説した教材を設けている。 〈伝統的な言語文化の充実〉 ・各学年に「四季のたより」を設定し、季節を感じさせる和歌や俳句、季節の言葉を紹介している。 ・資料編の「伝統芸能へのいざない」には、写真資料を用いた解説を掲載している。 〈その他〉 ・各学年の教材において、他教科に関連するテーマを取り上げている。 ・読解力・表現力を育成する問題として、各学年に「学びのチャレンジ」を設けている。</p>
<p>38 光村</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・各教材に、見通しをもつて学習を進めるための学習過程と学習活動の重点を示している。 ・各領域とも学習指導要領に示された学習活動例に基づき、各学年に適切な具体的な学習活動を設定している。 ・教材末の「学習」には、「見通しをもつ」「振り返る」や、ポイントを整理した「学習の窓」がある。 ○学習の基礎となる資質・能力を育成するための工夫 ・新出漢字を、筆順とともに一覧表に示している。 ・作品の一部や作家の声を紹介する「読書」や、読書活動を紹介するページがある。 ・教材末に「広がる読書」を設け、教材の内容に関係する本を複数紹介している。 ・各学年の巻末に、テーマ別に語彙を分類した「語彙を豊かに」を設けている。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 〈情報教育の充実〉 ・各学年に、情報の扱い方を解説した「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」を設けている。 ・各学年に、情報の収集方法や様々なメディアを取り上げた教材「情報社会を生ききる」を設定している。 〈伝統的な言語文化の充実〉 ・古典の導入教材として、3年間で学習する古典作品やその概要を紹介する「古典の世界」を設けている。 ・各学年で、「季節のしおり」として、四季それぞれに関連する伝統的な言語文化を扱った作品を紹介している。 〈その他〉 ・学習内容の系統性を確認するために、関連する既習事項や、今後の学習に活用できる内容を提示している。</p>

書 写

項目	発行者の 番号・略称	総 ペ ー ジ	内容別配当ページ数						教材・資料 等の分量		使用上の便宜・編集上の工夫等	
			硬筆教材	毛筆教材・楷書	毛筆教材・行書	漢字と仮名の調和	生活と書写	漢字表	その他	原寸大手本		発展教材数
1・2・3年	2 東書	146	20	6	8	22	58	21	11	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 巻頭の「書写で学ぶこと」で学習の意義を示している。 ・ 各教材に「目標」「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返って話そう」として学習の流れを示している。 ・ 各単元に「書写のかぎ」として学習の要点を示している。 ・ 常用漢字表に加えて、人名用漢字表を収録している。 ・ 「まとめ」「書写テスト」を活用して学習内容を振り返り、確認することができる。 ・ 巻末の「書写活用ブック」では、日常生活等で汎用できるような目的に合わせた書式例を掲載している。 ・ 発展教材として、文字の成り立ちと変遷、伝統的な用具用材、はんこの作り方、古典作品などを取り上げている。
			13	11	20	25	32	16	13	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 5判。 ・ 各教材を見開き 2 ページで構成し、目標、ポイント、振り返りを示している。 ・ 字間や行間に余白があり、資料は大きめに掲載している。 ・ 各教材で「書き方を学ぼう」として、具体例とともに書き方のポイントを示している。 ・ 各単元の終わりに、「書いて身につけよう」として硬筆を使って、学習内容を振り返り確認する教材を設けている。 ・ 巻末には「資料編」として日常の書式や漢字表、平仮名、片仮名、数字、アルファベットの一覧を付している。 ・ 発展教材として、文字の変遷、篆刻、書の古典、文房四宝などを取り上げている。

書 写

項目	発行者の 番号・略称	総 ペ ー ジ	内容別配当ページ数							教材・資料 等の分量		使用上の便宜・編集上の工夫等
			硬筆教材	毛筆教材・楷書	毛筆教材・行書	漢字と仮名の調和	生活と書写	漢字表	その他	原寸大羊本	発展教材数	
1・2・3年	17 教出	146	25	11	19	11	39	17	24	4	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 主体的に学習できるよう、目標や手順を示している。 ・ 各教材に「考えよう」「生かそう」としてポイントを示し、「振り返ろう」として自己評価欄を設けている。 ・ 毛筆での学びを硬筆に応用したり、生徒同士の相互評価を促したり、日常生活に生かしたりする教材がある。 ・ 巻頭に「書写をとおして学んでいくこと」として、イラストで3年間の学習内容を視覚的に提示している。 ・ 硬筆教材の題材に、古典や現代文で学ぶものを取り上げ、国語との関連を図っている。 ・ コラムでは、文房四宝や活字デザイン、日本建築と書など、文字文化について話題を提供している。
1・2・3年	38 光村	158	34	4	28	10	34	24	24	6	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 5判。 ・ 毛筆での学習を硬筆に生かすワークブックとして、巻頭に、取り外せる「書写ブック(硬筆練習帖)」を付けている。 ・ 各教材に、「目標」「考えよう」「確かめよう」「生かそう」として学習の流れを示し、自己評価欄を設けている。 ・ 「学習の窓」で学習のポイントを示している。 ・ 各教材に、スマートフォンなどから動画で筆使いを確認したり、調べ学習をしたりできる二次元コードを掲載している。 ・ 文学作品などを取り上げ、他教科との関連付けや生活への活用を図っている。 ・ コラムでは、文字の歴史や源氏物語、UDフォントなどを取り上げ、多様な文字文化について話題を提供している。

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
2 東書	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・主体的な学びにつながるよう「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返って話そう」と見出しを付けて学習の流れを表示している。 ・生徒同士の対話により思考を深めるため、「振り返って話そう」で、対話しながら振り返る場面を設けている。 ・「生活に広げよう」で、学習内容を学校生活や社会で活用するための方法を示している。 ○学習の基礎となる「文字の読み書き」では、知識や語彙を広げる内容と「文字の節氣や暦を取り上げる」で、古典から現代までの幅広い「文字文化について」で目的に合わせた情報のまとめ方を解説し、深い学びへの入り口を示している。 ・小中、中高の田舎な接続のため、振り仮名のページや、書の古典を紹介している。</p>
15 三省堂	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・主体的な学びにつながるよう、巻頭に「学習の流れ」として、単元の基本構成を示している。 ・1年時に書いた作品と3年時のものを比較することや、1年時より3年時の文字を比較するよう、教材が用意されている。 ・対話をしながら学習のポイントを確かめたり、考えたりする項目を設けている。 ・学んだことを自分の言葉で記述し、自己評価を行えるよう、「振り返ろう」というページを設けている。 ○学習の基礎となる「資質・能力を育成するための工夫」 ・対話をしたりするよう、情報をまとめたり、発信したりする方法を深めよう、「やってみよう」という学習課題の単語として、四字熟語、アルファベットや理科の学習用語など多様な語彙を取り上げている。</p>
	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・職場体験や仕事の場で使われる手書き文字を取り上げ、キャリア教育を進める視点がある。 〈毛筆教材で取り扱っている文字（下線は原寸大）〉 ・楷書：大志、東、夢の表現、美しい線、最善を尽くす、夢の実現(1/8) ・行書：東、日光、大空、温故知新、早春、桜色、若緑、豊かな自然、感謝する心、信念を貫く、平和の祈り、希望に輝く春、生命を尊ぶ、不屈の精神、梅の花咲く里、栄光のかげ、温故知新、感謝する心(1/8)、信念を貫く、希望を尊ぶ(1/8)、生命を尊ぶ ・小筆：五十音（2種類）、正岡子規の句、夏目漱石の句（その他） ・漢字表：常用漢字の楷書及び行書を五十音順に掲載し、人名用漢字表を付している。</p>
	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・「身のまわりの文字」の中で著名人の手紙や賀状を掲載し、文字に関わる仕事を紹介している。 〈毛筆教材で取り扱っている文字（下線は原寸大）〉 ・楷書：天地、永久、若枝、諸行無常、伸びる芽、風の音を聞く、輝く生命、大望を抱く、平和の鐘、山光澄我心、行書：実、結、未知へと歩む、永久、若枝、諸行無常、伸びる芽、美り、音を聞く、日進月歩(1/8)、燃ゆる思い(1/8)、温故知新、旅立ちの時(1/8) ・小筆：いろは歌（2種類）の架橋（2種類）（その他） ・漢字表：常用漢字の楷書、行書を五十音順に掲載している。</p>

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>17 教出</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・自己批評して課題を発見したり、練習用紙を選択して課題解決に取り組んだりできるよう、「考えよう」の項を設けている。 ・話し合い活動で用いている学習用語を例示し、相互に評価し合う場面を設定し、対話による学習活動を促している。 ・各単元の終わりに、学習活動の振り返りを行う。 ・各単元の振り返りには、学んだ成果をまとめて確認する硬筆教材がある。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・レポートのまとめ方や効果的なノートなどの取扱いを、硬筆の教材があり、まとめ書きと応用のための硬筆課題が設けられ、生活に生かす設定がある。 ・集めた情報を整理して案内文を書くなど、多様な活動に広げる教材設定がある。 ・実社会で役立つ様々な書式を「書式の教室」で紹介している。</p>
<p>38 光村</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・学習の進め方を示し、「学習の窓」で学習のポイントを示すことと、主体的な学習活動に供している。 ・新しい学習内容について興味・関心をもたせるための「やってみよう」を、各単元の最初に設けている。 ・自らの気付きを、各単元の最初に設ける設定がある。 ・作品創作として、グループで壁新聞を制作する活動を取り上げる。 ・様々な情報に自らアクセスできるよう、二次元コードを掲載している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・別冊「書写」で硬筆教材を取録している。 ・学習したこととを他教科の学習や学校生活に生かす視点で、コラムや教材を用意している。</p>
	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・手書き文字だけでなく、多様な文字表現について考え、場面に応じた効果的な文字を書く学習を設けている。 〈毛筆教材で取り扱っている文字（下線は原寸大）〉 ・楷書：天地、成功、いろは歌、和、新たな決意(1/8)、出発、実現、広がる世界、古典に学ぶ ・行書：和、大木、榮光、平和、初志、深緑、喜びの声、創造、美しい自然、世界遺産、生命の尊重、伝統の継承、友好の精神(1/8)、真理の探究、名作、理想、雲海、開花、有終の美、旅立ちの朝 ・小筆：いろは歌(2種類)、八木重吉の詩、孔子の言葉、松尾芭蕉の句(3種類)、ルナールの言葉、光孝天皇の歌、小林一茶の句 〈その他〉 ・漢字表：小・中学校の学習漢字の楷書及び行書を部首別に配列し、後ろに五十音順の索引を付している。</p> <p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・身近な文字やUDFフォントについての学習や、目的に応じた文字の使い分けについて考える設定がある。 〈毛筆教材で取り扱っている文字（下線は原寸大）〉 ・楷書：天地、春風、将来の夢、新たな目標、大志を抱く、旅立ちの春、伝統を守る ・行書：緑、大木、北西、月光、雲海、紅花、豊かな心、深まる秋、探究、輝ける未来、不言実行(1/8)、文武両道、新たな目標(1/8)、大志を抱く、旅立ちの春(1/8)、伝統を守る ・小筆：いろは歌(2種類)、俳句「夏の夜やちぎれちぎれの天の川」 〈その他〉 ・漢字表：常用漢字の楷書、行書を五十音順に掲載している。</p>

社会(地理的分野)

項目	発行者の 番号・略称	内容別配当ページ数				教材・資料等の 分量			使用上の便宜・編集上の工夫等	
		世界と日本の地域構成	世界の様々な地域	日本の様々な地域	その他	地図	統計資料(グラフ・表)	図版資料(写真・絵・図)		
		総ページ								
2	東書	302	27	107	142	26	156	144	543	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 系統的に学習技能を習得できるよう「教科書の使い方と学び方」を設けている。 ・ 巻頭に、世界遺産一覧と、持続可能な社会の実現に向けた内容を設けている。 ・ 巻末に、「世界の主な家畜」「世界の農産物一覧」を設けている。 ・ U D F オフショットを使用している。 ・ 学習に必要な情報をウェブページで見ることができ二次元コードを設けている。
17	教出	308	19	105	149	35	142	115	488	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 系統的に学習技能を習得できるよう「教科書の使い方」を設けている。 ・ 巻頭に、世界遺産一覧や小学校の社会科の振り返りを設けている。 ・ 巻末に、「世界の主な家畜」「世界の主な農産物」を設けている。 ・ U D F オフショットを使用している。 ・ 学習に必要な情報をウェブページで見ることができ二次元コードを設けている。

社会(地理的分野)

項目	発行者の 番号・略称	総ページ	内容別配当ページ数				教材・資料等の 分量			使用上の便宜・編集上の工夫等
			世界と日本の地域構成	世界の様々な地域	日本の様々な地域	その他	地図	統計資料 (グラフ・表)	図版資料 (写真・絵・図)	
46 帝国		310	24	104	166	16	168	158	667	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 系統的に学習技能を習得できるよう「この教科書の学習のしかた」を設けている。 ・ 巻頭に、SDGsの一覧と関連する教材を設けている。 ・ 巻末に、「世界の家畜・鉱産物」「世界の農産物一覧」を設けている。 ・ U Dフオントを使用している。 ・ 学習に必要な情報をウェブページで見ることができ二次元コードを設けている。
116 日文		298	22	95	156	25	104	153	609	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 系統的に学習技能を習得できるよう「教科書の構成と使い方」を設けている。 ・ 巻頭に、「地理的な見方・考え方を示す「地理との出会い」」を設けている。 ・ 巻末に、「世界の畜産物」「世界の鉱産資源」「世界の農産物」を設けている。 ・ U Dフオントを使用している。 ・ 学習に必要な情報をウェブページで見ることができ二次元コードを設けている。

社会(地理的分野)

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
2 東書	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・問題解決的な学習を行うため、各学習項目で学習課題を提示し、課題追究のための方法として「見方・考え方」を、まともとして学習課題を解決するための「チェック＆トライ」を設けている。 ・対話的な活動の例として、「みんなでチャレンジ」を設けている。</p> <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・言語活動の充実を図るための工夫として、各学習項目の最後の「説明しよう」や節末・章末の「学習をまとめよう」などで、学習内容を文章で説明する課題を設けている。 ・基礎的・基本的な技能の習得のための「スキル・アップ」を設けている。</p>
17 教出	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・問題解決的な学習を行うため、各学習項目で学習課題を提示し、課題追究のための方法として「読み解こう」を、まともとして学習課題を解決する「確認と表現」を設けている。</p> <p>・対話的な活動の例として、「学習のまとめと表現」で「意見を交換しよう」を設けている。</p> <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・言語活動の充実を図るための工夫として、各学習項目の最後の「確認と表現」や節末・章末の「学習のまとめと表現」などで、学習内容を文章で説明する課題を設けている。 ・基礎的・基本的な技能の習得のための「地理の技」を設けている。</p>

○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫
・防災・安全について、「震災から命を守る」という特集ページを設けている。他に、防災に関するコラムを9か所設けている。
・領土に関する内容について、北方領土、竹島や尖閣諸島の記事を設けている。
・人権に関する内容について、アボリジニ、アイヌ民族の教材・コラムを設けている。
・情報化について、「情報化がアフリカ社会を変える」「ICTで変わる離島の医療」の特集ページを設けている。
・持続可能な社会について、「地域の在り方」で、SDGsと関連付けて取り上げている。

○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫
・防災・安全について、「地域調査の方法」の中で、ハザードマップを取り上げている。他に、防災に関するコラムを5か所設けている。
・領土に関する内容について、「北方領土に関する主なできごと」の年表を設けている。
・人権に関する内容について、アバルトヘイト、マオリやアイヌ民族の教材・コラムを掲載している。
・情報化について、「情報を生かした産業」のコラムを設けている。
・巻頭に、持続可能な社会について、地球的課題とSDGsを取り上げている。

社会(地理的分野)

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
46 帝国	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を行うため、各学習項目で学習課題を提示し、課題追究の方法として「資料活用」を、まとめとして学習課題を解決する「確認しよう」「説明しよう」を設けている。 ・対話的な活動の例として、節のまとめに「話し合おう」を設けている。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の充実を図るための工夫として、各学習項目の最後の「説明しよう」や節末・章末の「振り返ろう」などで、学習内容を文章で説明する課題を設けている。 ・基礎的・基本的な技能の習得のための「技能をみがく」を設けている。 	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・安全について、「ハザードマップの読み取り方」のページを設けている。他に、防災に関するコラムを9か所設けている。 ・領土に関する内容について、竹島に関しての記事を設けている。 ・人権に関する内容について、アイヌ民族の文化や歴史を設けている。 ・情報化について、「通信網を生かした地域おこしの取り組み」のページを設けている。 ・持続可能な社会について、巻頭見開き2ページでSDGsを取り上げている。
116 日文	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を行うため、各学習項目に学習課題を提示し、課題追究の方法として「見方・考え方」を、まとめとして学習課題を解決する「確認」「深めよう」を設けている。 ・対話的な活動の例として、「チャレンジ地理」を設けている。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の充実を図るための工夫として、各学習項目の最後の「確認」「深めよう」や章末の「ふりかえろう」などで、学習内容を文章で説明する学習課題を設けている。 ・基礎的・基本的な技能の習得のための「スキルUP」を設けている。 	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・安全について、「釜石の奇跡はなぜ起こったのか」のページを設けている。他に、防災に関するコラムを6か所設けている。 ・領土に関する内容について、「北方領土付近の国境の変化」の地図を設けている。 ・人権に関する内容について、アパルトヘイト、コリアタウンやアイヌ民族を取り上げている。 ・情報化について、「情報通信網の整備で変わる人々の生活」「アウトバックの生活」のコラムを設けている。 ・持続可能な社会について、「日本の諸地域をふりかえろう」でSDGsを取り上げている。

社会(歴史的分野)

項目	総ページ	内容別配当ページ数				教材・資料等の分量				使用上の便宜・編集上の工夫等
		歴史との対話	近世までの日本とアジア	近現代の日本と世界	その他	地図	統計資料(グラフ・表)	図版資料(写真・絵・図)	年表	
2 東書 発行者の 番号・略称	308	12	130	136	30	95	38	862	21	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 巻頭の「章の構成と学び方」で、学習の基本的な流れを示している。 ・ 第1章「歴史をとらえる見方・考え方」で、歴史的な見方・考え方を示している。 ・ 本文の学習内容を深められるように、「もっと歴史」「歴史にアクセス」等のコラムを設けている。 ・ 関連する情報などを閲覧できるように、「Dマーク」や二次元コードを設けている。 ・ 巻末に、日本の歴史地図を設けている。
17 教出	318	16	128	144	30	99	42	861	21	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 巻頭の「各章の構成と学習の流れ」で、学習の基本的な流れを示している。 ・ 第1章「歴史のとらえ方・調べ方」で、歴史的な見方・考え方を示している。 ・ 本文の学習内容を深められるように「歴史の窓」というコラムを設けている。 ・ 関連する情報などを閲覧できるように、各章の冒頭に「まなびリンク」と二次元コードを設けている。 ・ 巻末に、日本の歴史地図を設けている。

社会(歴史的分野)

項目	発行者の 番号・略称	内容別配当ページ数				教材・資料等の 分量				使用上の便宜・編集上の工夫等
		歴史との対話	近世までの日本とアジア	近現代の日本と世界	その他	地図	統計資料(グラフ・表)	図版資料(写真・絵・図)	年表	
		総ページ								
46	帝国	14	134	140	22	105	62	901	32	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 巻頭の「学習の見直し・振り返りの流れ」で、学習の基本的な流れを示している。 ・ 第1部「歴史的な見方・考え方を働かせよう」で、歴史的な見方・考え方を示している。 ・ 本文の学習内容を深められるように「地域史」「未来にむけて」等のコラムを設けている。 ・ 関連する情報などを閲覧できるように、二次元コードを設けている。 ・ 巻末に、世界の歴史の年表を設けている。
81	山川	9	140	130	17	110	47	915	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 巻頭の「この教科書の使い方」で、本文ページの構成を示している。 ・ 各章末の「まとめ」で、歴史的な見方・考え方を働かせる課題を設けている。 ・ 本文の学習内容を深められるように、コラムや「歴史へのアプローチ」のページを設けている。 ・ 関連する情報などを閲覧できるように、二次元コードを設けている。 ・ 巻末に、現在の世界地図を設けている。

社会(歴史的分野)

項目	総ページ	内容別配当ページ数				教材・資料等の分量				使用上の便宜・編集上の工夫等
		歴史との対話	近世までの日本とアジア	近現代の日本と世界	その他	地図	統計資料(グラフ・表)	図版資料(写真・絵・図)	年表	
116 発行者の 番号・略称 日文	336	11	144	148	33	118	59	873	95	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 巻頭の「教科書の構成と使い方」で、学習の基本的な流れを示している。 ・ 第1編「私たちと歴史」で、歴史的な見方・考え方を示している。 ・ 本文の学習内容を深められるように「先人に学ぶ」「歴史を掘り下げる」等のコラムを設けている。 ・ 関連する情報などを閲覧できるように、二次元コードを設けている。 ・ 巻末に、日本の歴史地図を設けている。
227 育騰社	320	13	137	135	35	89	48	898	32	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 巻頭の「この教科書の使い方」で、学習の基本的な流れを示している。 ・ 巻頭に、日本人の歴史をたどるための「日本の美の形」を設けている。 ・ 歴史的な見方・考え方を働かせて、幅広く学習するために「歴史ズームイン」を設けている。 ・ 本文の学習内容を深められるように、「歴史ビュー」「人物クローズアップ」というコラムを設けている。 ・ 巻末に、日本の歴史地図を設けている。

社会(歴史的分野)

項目	総ページ	308	使用上の便宜・編集上の工夫等		
	発行者の 番号・略称	229 学び舎			
内容別配当ページ数					
歴史との対話		6			<ul style="list-style-type: none"> ・ A4判。 ・ 巻頭に、「この教科書の使い方」を設定し、学習の基本的な流れを示している。 ・ 巻頭に、世界の歴史地図を設けている。 ・ 各章末の学習のまとめで、歴史的な見方・考え方を働かせる課題を設けている。 ・ 体験学習を紹介する「歴史を体験する」を設けている。 ・ 本文の学習内容を深めるための「フォーカス」を設けている。 ・ 巻末に、日本の歴史地図を設けている。
近世までの日本とアジア		130			
近現代の日本と世界		147			
その他		25			
地図		116			
教材・資料等の分量					
統計資料(グラフ・表)		31			
図版資料(写真・絵・図)		868			
年表		29			

社会(歴史的分野)

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>2 東書</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・問題解決的な学習を展開するために、各単元(章)の学習を「探究課題」、節の学習を「探究のステップ」、1時間の学習を「学習課題」と、問いを構造化している。 ・対話的な学習の例として、「みんなでチャレンジ」を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・資料活用技能を育成するため、「スキル・アップ」で、「集める」「読み取る」を設けている。 ・「歴史の見方・考え方」で、歴史的な見方・考え方を活用して思考する場面を設けている。 ・学習の終わりに、基礎的事項を確認する「チェック」と、要約や説明などをする「トライ」を設けている。</p>
<p>17 教出</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・見通しをもって学習を進められるように、各章の導入の「学習を始めよう」で、時代を象徴する資料と問いを示している。 ・生徒が課題意識をもって学習に取り組めるように、学習項目の学習課題を明示している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・資料を読み取る技能を身に付けさせるために、「読み解こう」「歴史の窓」を設け、問いを示している。 ・学習の最後に、基礎的事項を確認する「確認」と、説明する「表現」を設けている。 ・各章末の「学習のまとめと表現」のページで、時代の特徴を説明する活動を取り入れている。</p>

○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫
 ・人権に関わる内容について、「解放令から水平社へ」などで部落差別を取り上げている。また、「歴史にアクセス」というコラムで在日韓国・朝鮮人を、「広がる社会運動」と男子普通選挙の実現」で女性の地位を、「アイヌ文化と男子普通選挙の実現」でアイヌの人々の内容を取り上げている。
 ・防災について、「震災の記憶を語りつく」で、自然災害とその後の取組について取り上げている。
 ・「歴史のまとめ」のページを設け、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマから歴史の学習を振り返り、持続可能な社会について構想する学習活動を取り入れている。

○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫
 ・人権に関わる内容について、「社会運動の高まり」で部落差別と女性の地位に関する内容を取り上げている。「琉球とアイヌの文化を伝えた人たち」で沖縄とアイヌの人々を、「歴史の窓」というコラムで在日韓国・朝鮮人の人々の内容を取り上げている。
 ・防災について、「災害の歴史を学ぶ・伝える」で自然災害とその後の取組について取り上げている。
 ・「歴史学習の終わりに～歴史を振り返って、未来を構想しよう」というページを設け、SDGsを参考にして持続可能な社会を構想し、グループで話し合う学習活動を取り入れている。

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
46 帝国	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の見通しをもてるようにするため、各章、節、本文ページの冒頭に、「章の問い」「節の問い」「学習課題」を設けている。 ・立場や場面を選択して話し合う活動例として、「多角的・多角的に考えてみよう」を設けている。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用する技能を育成するために、各種写真・統計資料に「資料活用」の問いを設けている。 ・学習の最後に、言語活動の例として、「説明しよう」を設けている。 ・「章の学習をふりかえろう」で、各時代の特色を論理的に説明する課題を設けている。 	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未来に向けて」というコラムで、人権、環境、平和、交流などをテーマに記事を掲載している。「差別からの解放」や「全国水平社の結成」などで、部落差別を取り上げてい <p>る。また、「母性保護論争を考察する」で、女性の権利と義務について取り上げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災について、自然災害に立ち向かった人々や東日本大震災を取り上げている。 ・「多角的・多角的に構想する」というページを設け、歴史事象のうち現代でも社会的な課題となっていることからテーマを設定し、解決の方法を考え、話し合う学習活動を取り入れている。
81 山川	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の冒頭に、テーマを理解するための発問を付し、学習課題を示している。見通しをもって主体的に学習できるように、各学習項目に学習課題を示している。 ・単元の末尾に、更なる課題追究に向け、「ステップアップ」の発問を設けている。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取る技能を育成するため、美術作品、遺物、史跡の図版に発問を示している。 ・各時代の特徴を振り返ることができるようにするために、各章末の「まとめ」では、章で学習した単元全体の推移・因果関係などに着目させたり比較させたりする発問を設けている。 	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる内容として、「社会運動の高まり」で部落差別と女性の地位に関わる内容を取り上げている。また、「戦時体制下の植民地・占領地」で在日韓国・朝鮮人を、「アイヌ民族の歴史と文化」「北海道開拓とアイヌ民族」でアイヌの人々の内容を取り上げている。 ・防災について、「現代の日本と世界」の導入と、「今の日本、これからの日本」で東日本大震災やその他の震災について取り上げている。 ・「現代の日本と世界」のまとめで、歴史学習を通して解決すべき問題を取り上げ、具体的な解決策について考える学習活動を取り入れている。

社会(歴史的分野)

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>116 日文</p>	<p>内容の程度・組織・取扱い等の特徴</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・生徒に関心・意欲をもたせるために、各学習項目に「導入資料」を示し、関係する問いかけを設けている。 ・学習に見通しをもたせるために、学習課題を示している。 ・対話的な学習の例として、「チャレンジ歴史」を設けている。</p> <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・図版に「資料活用」を付し、資料の読み取りに関わる発問を示している。 ・学習課題の解決に向けて手がかりになる歴史的な見方・考え方の例を示している。 ・基礎的・基本的な技能を確実に定着させるために、学習項目の末尾に「確認」を設けている。</p>
<p>227 育鵬社</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・見通しをもち学習を進めるため、各学習の冒頭に複数の資料からなる「導入資料」と、資料を読み取る視点を提示した「吹き出し」を設け、学習課題を示している。 ・各学習項目の終わりに、学習課題に対応した「学習のまとめ」を設けている。</p> <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・資料を読み取る技能を育成するため、「史料の読み方」や、資料に付されたキャラクターの吹き出しを設けている。 ・言語活動の例として、各学習項目の終わりに「学習のまとめ」や、章のまとめで、自分の言葉で説明する課題を設けている。</p>

○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫
 ・人権に関わる内容について、「差別からの解放を求めて」で部落差別と女性の地位に関わる内容を取り上げている。
 「強まる戦時体制」で在日韓国・朝鮮人を、「アイヌ文化の成熟」でアイヌの人々の内容を取り上げている。
 ・防災について、「災害の歴史に学ぶ」というページを設け、防災・減災に対する先人の取組を取り上げ、災害に強い社会の実現をめざし、防災・減災に関するそなえを過去から考える学習を設定している。
 ・災害・政治参加・世界平和についての課題学習に関して、「歴史との対話を未来に活かす」というページを設けている。

○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫
 ・人権に関わる内容について、「社会運動の高まり」などで部落差別、「国家総動員体制」で在日韓国・朝鮮人を、「蝦夷地との交易」でアイヌの人々の内容を取り上げている。
 「社会運動の高まり」で女性の地位に関わる内容を取り上げるとともに、「なでしこ日本史」というコラムで各時代を代表する女性を紹介している。
 ・防災について、「震災の日本史」というページで、わが国で発生した主な大地震と、それにまつわる伝承や教訓を取り上げている。
 ・学習のまとめとして、日本の課題とその解決について話し合う活動を盛り入れている。

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
229 学び舎	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、各単元の冒頭には図版を配置している。また、見直しをもって学習できるように、学習課題を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話的な活動例として、「歴史を体験する」に、「討論・対話にチャレンジ」の学習課題を設けている。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を大きく掲載し、活用できるようにしている。 ・テーマに応じて、学習したことを比較したり関連させたりして学習を深められるよう、章末の「学習のまとめ」で、様々なまとめ方を設けている。 ・自分の言葉で時代の特徴を表現する学習活動を取り入れる「学習のまとめ」を設けている。
	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる内容について、「嘆きのもとを打ち破る」などで部落差別に関わる内容を取り上げている。また、「女性たちが団結すべきときがきた」で女性の権利を、「帰れない人びと」で在日韓国・朝鮮人の内容を、「戦うアイヌの人びと」でアイヌの人々の内容を取り上げている。 ・防災について、「大震災とグローバル化」で東日本大震災の影響により、どのように人々の生活や経済が変化したかを取り上げている。 ・現代の学習のまとめで、歴史学習を振り返って「現代も課題となったこと」について話し合う活動を取り入れている。

社会(公民的分野)

項目 発行者の 番号・略称	総ページ	内容別配当ページ数					教材・資料等の 分量			使用上の便宜・編集上の工夫等
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	その他	地図・年表	統計資料(グラフ・表)	図版資料(写真・絵・図)	
2 東書	262	31	52	90	34	55	25	102	538	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ U Dフオントを使用している。 ・ 系統的に学習技能を習得するために、「この教科書の使い方と学び方」を設けている。 ・ 巻頭に、「持続可能な社会の実現に向けて」「公民学習の初めに」を設けている。 ・ 巻末に、「学習資料として」「参考法令集」などを設け、特集として、「日本の無形文化遺産」「持続可能な社会の実現に向けて」を設けている。 ・ ウェブページで学習に関連する情報を閲覧するための二次元コードを設けている。
17 教出	272	26	64	90	44	48	20	115	505	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ U Dフオントを使用している。 ・ 系統的に学習技能を習得するために、「学習の見通し」「具体的な学び方」「ノートづくり」を提示し、学習の手立てを示している。 ・ 巻頭に、「現代を生きる私たち」「公民の学習を始めるにあたって」を設けている。 ・ 巻末に、「学習資料として」「法令集」「用語解説」、特集として「持続可能な未来を目指す人々」を掲載している。 ・ ウェブページで学習に関連する情報を閲覧するための二次元コードを設けている。

社会(公民的分野)

項目 発行者の 番号・略称	総ページ	内容別配当ページ数					教材・資料等の 分量			使用上の便宜・編集上の工夫等
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	その他	地図・年表	統計資料(グラフ・表)	図版資料(写真・絵・図)	
46 帝国	246	25	62	78	33	48	16	122	418	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ U Dフオントを使用している。 ・ 系統的に学習技能を習得するために、「この教科書の学習のしかた」「公民的分野全体の学習の全体像を見通そう」を設けている。 ・ 巻頭と巻末に、「よりよい社会を目指して」を設けている。 ・ 巻末に、学習資料として「法令集」「さくいん」「第二次世界大戦後の歩み」「防災・減災を通じた社会参画」を設けている。 ・ ウェブページで学習に関連する情報を閲覧するための二次元リンクを設けている。
116 日文	264	28	54	88	45	49	23	137	482	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ U Dフオントを使用している。 ・ 系統的に学習技能を習得するために、「教科書の構成と使い方」で学習の流れを示している。 ・ 巻頭に、「これから社会をどうんな社会にしたい?」「地理・歴史とのつながり」を設けている。 ・ 巻末に、学習資料として「類似用語集」、特集として「高校の公民科公共とのつながり」「日本の人口を100人に縮めてみる」とを設けている。 ・ ウェブページで学習に関連する情報を閲覧するための二次元リンクを設けている。

社会(公民的分野)

項目 発行者の 番号・略称	総ページ	内容別配当ページ数					教材・資料等の 分量			使用上の便宜・編集上の工夫等
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	その他	地図・年表	統計資料(グラフ・表)	図版資料(写真・絵・図)	
225 自由社	256	42	44	78	60	32	23	46	332	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・裏表紙に、日本の領域の地図を設けている。 ・先生や友達のキャラクターを設定し、各学習項目ページに配置している。 ・系統的な学習技能を習得するために、「この教科書を学ぶにあたって」「各章末の学習のまとめと発展の取り組み方」のページを設けている。 ・巻頭に、「すごいぞ日本の技術は」を設けている。 ・巻末に、学習資料として「法令集」「現代社会の歩み」「さくいん」、特集として「職人の技が生み出した日本の伝統工芸品」を設けている。
227 育鵬社	256	28	52	80	36	60	29	97	440	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・系統的に学習技能を習得するために、「教科書の基本構成」や「学習の流れ」を設けている。 ・巻頭に、公民的分野の学習の導入として「なぜ公民を学ぶのか」「公民について」を設けている。 ・本文構成の巻末に、「日本の伝統文化」「戦後の日本と世界の出来事」の特集ページを設けている。 ・巻末に、学習資料として「法令集」「用語解説」「さくいん」を設けている。 ・巻末に、特集として「持続可能な社会をめざして」を設けている。

社会(公民的分野)

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
2 東書	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を行うため、各学習項目の中で学習課題を提示し、課題追究を行う方法として「見方・考え方」・まとめとして「チェック」「トライ」を設けている。 ・見通しをもって学習に取り組めるように、単元を貫く「探究課題」を設けている。 ・対話的な活動の例として、「みんなでチャレンジ」を設けている。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の充実を図るための工夫として、各学習項目の学習内容をまとめる「チェック&トライ」や、各章のまとめを文章で表現する「まとめの活動」を設けている。 ・基礎的・基本的な技能の習得のために、「スキルアップ」を設けている。 	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領土問題について、「竹島問題の経緯と取り組み」「北方領土問題の経緯と取り組み」「尖閣諸島への対応」を設けている。 ・人権に関わる内容として、「アイヌ民族」「共生社会」の特集ページを設けている。 ・社会参画について、「18歳へのステップ」の特集ページを設けている。 ・防災について、地方自治の学習で、東日本大震災の特集ページを設けている。 ・持続可能な社会について、「地球社会と私たち」でSDGsを掲載している。
17 教出	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を行うため、各学習項目の中で学習課題を提示し、課題追究を行う方法として「読み解こう」・まとめとして「確認」「表現」を設けている。 ・見通しをもって学習に取り組めるように、章のはじめに「学習のはじめに」を設けている。 ・対話的な活動として、「言葉で伝え合おう」を設けている。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の充実を図るための工夫として、各学習項目の学習内容をまとめる「表現」や、各章のまとめを文章で表現する「学習のまとめと表現」を設けている。 ・基礎的・基本的な技能の習得のために、「公民の技」を設けている。 	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領土問題について、尖閣諸島と北方領土について、「日本の外交の今とこれから」を設けている。 ・人権に関わる内容として、「ともに生きる社会を目指す人たちへ」「新しい人権を考える」の特集ページがある。 ・社会参画について、「18歳選挙権と私たち」「起業にチャレンジしてみよう」を設けている。 ・防災について、「急速に進展する情報社会」で災害時の情報活用を取り上げている。 ・持続可能な社会について、特集ページ「持続可能な妨げる、さまざまな課題」を設けるとともに、巻頭ページにSDGsを掲載している。

社会(公民的分野)

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
46 帝国	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・問題解決的な学習を行うため、各学習項目の中で学習課題を提示し、課題追究を行う方法として「資料活用」、まとめとして「確認しよう」「説明しよう」を設けている。 ・見通しをもって学習に取り組めるように、単元のはじめに「章の問い」「節の問い」を設けている。 ・対話的な活動の例として、「章の学習を振りかえろう」で意見を交換する場面を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・言語活動の充実を図るための工夫として、各学習項目の学習内容をまとめる「説明しよう」や、各章のまとめを文章で表現する「章の学習を振り返ろう」を設けている。 ・基礎的・基本的な技能の習得のために、「技能をみがく」を設けている。</p>
116 日文	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・問題解決的な学習を行うため、各学習項目の中で学習課題を提示し、課題追究を行う方法として「見方・考え方」、まとめとして「確認」を設けている。 ・見通しをもって学習に取り組めるように、編のはじめに「まんが」を掲載し見方・考え方を示している。 ・対話的な活動の例として、「アクティビティ」で個人やグループで学習する場面を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・言語活動の充実を図るための工夫として、各学習項目の学習内容をまとめる「確認」や、各章のまとめを文章で表現する「学習の整理と活用」を設けている。 ・基礎的・基本的な技能の習得のために、「情報スキルアップ」を設けている。</p>

○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫
 ・領土問題について、「尖閣諸島を巡って」の記事を設けている。
 ・人権に関わる内容として、「偏見や差別をなくすために」の特集ページを設けている。
 ・社会参画について、「企業経営の経験を生かし日本の政治を変えていきたい」などの特集ページを設けている。
 ・防災について、巻末に「防災・被災を通じた社会参画」の特集ページを設けている。
 ・持続可能な社会について、SDGsの一覧を掲載するとともに、「よりよい国際社会の実現」にインタビュー記事も設けている。

○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫
 ・領土問題について、「日本の領土をめぐる問題の解決にむけて」の特集ページを設けている。
 ・人権に関わる内容として、「まちのバリアフリーを探そう」「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」の特集ページがある。
 ・社会参画について、「15歳は子ども？それとも大人？」の特集ページがある。
 ・防災について、「災害に強いくらしをきずく」で特集ページを設けている。
 ・持続可能な社会について、巻頭2ページでSDGsを掲載している。

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>225 自由社</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・問題解決的な学習を行うため、各学習項目の中で、学習課題を提示し、課題追究を行う方法をキャラクターの吹き出しで示している。 ・見通しをもって学習に取り組めるように、章のはじめに学習課題を示している。 ・対話的な活動の例として、「やってみよう」で個人やグループで学習する場面を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・言語活動の充実を図るための工夫として、各学習項目をまとめる「アクティビティに深めよう」や、章のまとめを文章で表現する「学習のまとめと発展」を設けている。 ・基礎的・基本的な技能の習得のために、「やってみよう」を設けている。</p>
<p>227 育鵬社</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・問題解決的な学習を行うため、各学習項目の中で学習課題を提示し、課題追究を行う方法をキャラクターの吹き出しで示し、最後にまとめを設けている。 ・見通しをもって学習に取り組めるように、編のはじめに「入り口」で学習課題を示している。 ・対話的な活動として、「やってみよう」という課題を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・言語活動の充実を図るための工夫として、各学習項目を文章でまとめたり、各章のまとめを文章で表現する「章の学習を振り返ろう」を設けている。 ・基礎的・基本的な技能の習得のために、「スキルアップ！」を設けている。</p>
<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・領土問題について、「わが国の領土問題」「海をめぐる国益の衝突」の特集ページを設けている。 ・人権に関わる内容として、「権利の平等に関する問題」「新しい人権」の特集ページを設けている。 ・社会参画について、「魅力あるまちづくりを考えよう」「選挙制度と政治参加」「お店を出店しよう」の特集ページを設けている。 ・防災について、地方自治で「地方自治と防災」の特集ページを設けている。 ・持続可能な社会について、SDGsを「終章」で取り上げ、レポートや卒業論文の作成等の参考としている。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・領土問題について、「日本の領土をめぐる問題」の特集ページを設けている。 ・人権に関わる内容として、「ともに生きるためにできること」「世界の人権問題」の特集ページを設けている。 ・社会参画について、「裁判員になって判決を考えよう」「人生をデザインしよう」の特集ページを設けている。 ・防災について、「国民を守る防災・減災」のコラムで取り上げている。 ・持続可能な社会について、巻頭見開きでSDGsに触れ、巻末で、「持続可能な社会をめざして」の資料を設けている。</p>

地図

項目	総ページ	内容別配当ページ数					教材・資料等の分量				使用上の便宜・編集上の工夫等
		地図の学び方	世界地図	日本地図	統計資料	その他	統計資料(グラフ・表)	島瞰図(一般図・主題図・鳥瞰図)	図版資料(写真・絵・図)	国旗掲載国数	
2 東書 発行者の 番号・略称	192	4	59	65	9	55	98	302	260	197	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4判。 ・ UDFォントを使用している。 ・ 他のページに関連した内容の資料図がある図版には、関連する資料の参照ページ、資料番号、タイトルを示す「ジャンプ」を設けている。 ・ 歴史的分野に関連したページを設けている。 ・ 公民的分野に関連したページを設けている。 ・ 領土について、「日本の周辺」地図で、北方領土、竹島、尖閣諸島の写真を掲載している。
46 帝国	188	5	61	71	9	42	140	381	226	197	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4判。 ・ UDFォントを使用している。 ・ 別のページに関連した内容の資料図がある図版には、参照ページと資料番号を緑色の文字で付記している。 ・ 歴史的分野と結びつく地図を掲載している。 ・ 公民的分野で活用できる統計資料を掲載している。 ・ 領土について、日本列島地図に、北方領土、竹島、尖閣諸島の写真を掲載している。

	内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>2 東書</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・生徒の主体的な学びを支援するために、関連する地理院地図や統計資料をウェブページ上で閲覧できるように、二次元コードを掲載している。 ・課題解決的な学習に必要な資料を探するために、巻末に、テーマごとに検索できる「資料さくいん」を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・巻頭の「この地図帳の地図記号」「この地図帳の活用方法」で、地図帳の基本的な見方・使い方を示している。 ・キャラクターに吹き出しを付け、資料の読み取りのポイントや地理的な見方・考え方を育成するための問いを27か所示している。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・巻頭で、SDGsの17の目標を写真とともに示し、現代的な諸課題に関する資料を提示している。 ・防災・安全について、火山と地震の分布、日本の主な自然災害、東日本大震災の主題図、ハザードマップを掲載している。 ・環境・エネルギーについて、環境問題の現状、世界と日本の再生可能エネルギーによる発電の普及を取り上げている。 ・伝統・文化について、世界の衣食住、宗教、主な世界遺産、日本各地の郷土料理などを取り上げている。</p>
<p>46 帝国</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・生徒の主体的な学びを支援するために、関連する地理院地図や統計資料、衛星写真や動画をウェブページから閲覧できるように、二次元コードを掲載している。 ・各ページのテーマを追究する際の着眼点を示している。主題を設定したページには、「学習課題」を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・巻頭の「地図帳の使い方」で、地図帳の基本的な見方・使い方を示している。 ・「地図活用」を設け、資料の読み取りのポイントや地理的な見方・考え方を育成するための問いを94か所示している。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・持続可能な社会を実現するために、世界でどのような取組が行われているかについて、資料を掲載している。 ・防災・安全について、火山と地震の分布、東日本大震災の資料図、ハザードマップを掲載している。 ・環境・エネルギーについて、環境問題の現状、日本の再生可能エネルギーによる発電の普及を取り上げている。 ・伝統・文化について、世界の衣食住、宗教、日本の世界遺産、日本の伝統的な町並みの保存、日本の各地方の特色ある祭り・行事、日本の伝統的な料理などを取り上げている。</p>

数 学

項目	総ページ	内容別配当ページ数								
		数と式	図形	関数	データの活用	複合	資料	その他		
2 東書 発行者の 番号・略称	1年	312	115	75	45	23	6	11	37	使用上の便宜・編集上の工夫等 ・B5判。 ・本文に、既習事項を振り返る「ちよつと確認」を設けている。 ・学習指導要領に示されていない内容の教材については、「発展」マークを付けている。 ・学習内容に関連する資料をウェブページで閲覧できる「Dマーク」を掲載している。 ・B5判。 ・本文に、既習事項を振り返る「思い出そう」を設けている。 ・学習指導要領に示されていない内容の教材については、「発展」マークを付けている。 ・学習内容に関連する資料をウェブページで閲覧できる「WEB」マークを掲載している。 ・B5判。 ・各領域のはじめに、既習事項を振り返る「ふりかえり」を設けている。 ・学習指導要領に示されていない内容の教材については、「発展」マークを付けている。 ・デジタルコンテンツを活用するためのURLや二次元コードを示している。
	2年	250	56	71	40	38	2	9	34	
	3年	284	93	94	36	14	2	10	35	
4 大日本	1年	324	117	76	41	27	16	16	31	・B5判。 ・本文に、既習事項を振り返る「思い出そう」を設けている。 ・学習指導要領に示されていない内容の教材については、「発展」マークを付けている。 ・学習内容に関連する資料をウェブページで閲覧できる「WEB」マークを掲載している。 ・B5判。 ・各領域のはじめに、既習事項を振り返る「ふりかえり」を設けている。 ・学習指導要領に示されていない内容の教材については、「発展」マークを付けている。 ・デジタルコンテンツを活用するためのURLや二次元コードを示している。
	2年	250	55	75	36	36	8	11	29	
	3年	302	94	89	33	18	26	11	31	
11 学園	1年	316	127	72	40	31	4	12	30	・B5判。 ・各領域のはじめに、既習事項を振り返る「ふりかえり」を設けている。 ・学習指導要領に示されていない内容の教材については、「発展」マークを付けている。 ・デジタルコンテンツを活用するためのURLや二次元コードを示している。
	2年	270	62	72	46	42	5	14	29	
	3年	310	95	99	40	19	11	15	31	

数 学

項目	内容別配当ページ数							総ページ
	数と式	図形	関数	データの活用	複合	資料	その他	
17 教出 61 啓林館 104 数研	1年	81	39	29	2	20	36	332
	2年	85	38	43	5	18	32	280
	3年	94	35	19	9	20	31	306
17 教出 61 啓林館 104 数研	1年	78	37	28	22	10	45	336
	2年	77	40	35	11	4	42	264
	3年	101	36	22	14	2	48	320
17 教出 61 啓林館 104 数研	1年	96	44	27	6	23	36	362
	2年	84	46	39	7	21	33	304
	3年	116	38	25	32	24	34	370

使用上の便宜・編集上の工夫等

- ・ B5判。
- ・ 章のはじめに、既習事項を振り返る「～を学習する前に」を設けている。
- ・ 学習指導要領に示されていない内容の教材については、「発展」マークを付けている。
- ・ デジタル資料を閲覧できるウェブページを紹介するマーク「まなびリンク」を掲載している。
- ・ B5判。
- ・ 本文に、既習事項を振り返る「ふりかえり」を設けている。
- ・ 本編（必修内容）「みんなで学ぼう編」とオプショナル「自分から学ぼう編」で構成している。
- ・ デジタルコンテンツを活用するためのURLや二次元コードを示している。
- ・ B5判。
- ・ 章のはじめに、既習事項を振り返る「ふりかえり」を設けている。
- ・ 本冊（必修内容）と別冊（本冊の内容を深め、学びを発展させるための教材）の二部構成である。
- ・ デジタルコンテンツを活用するためのURLや二次元コードを示している。

数 学

項目	総ページ	内容別配当ページ数							
		数と式	図形	関数	データの活用	複合	資料		その他
発行者の 番号・略称	1年	324	74	43	35	8	13	31	使用上の便宜・編集上の工夫等 ・B5判。 ・章のはじめに、既習事項を振り返る「次の章を学ぶ前に」を設けている。 ・学習指導要領に示されていない内容の教材については、「発展」マークを付けている。 ・学習内容に関連する資料をウェブページで閲覧できる「WEB」マークを掲載している。
	2年	254	74	41	32	12	9	27	
	3年	296	91	38	19	21	9	32	
116 日文									

数 学

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
2 東書	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章のはじめに、生徒の興味・関心を高めるため、日常生活の場面をイラストと「問いかけ」で示している。 ・節の導入は、生徒が書き込んで考えることができ、紙面で構成している。 ・問題発見・解決の過程を重視した数学的活動を紙面化した「深い学びのページ」を設けている。 ・章末に「活用の問題」、巻末の解答に「考え方」「説明のポイント」を設けている。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書を書き写すだけでなく、思考力・表現力を高められるようノートに記述例を「数学マイノート」で示している。 ・伝える力を身に付けるよう、巻末に「レポートにまとめよう」を示している。 ・情報活用能力を高められるよう、現実のデータを用いて傾向を分析する課題を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「深い学びのページ」で、「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→ふり返る→深める」の過程を示している。 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・「防災・安全」「環境」「オーリンピック・パラリンピック」に関する内容などを教材に取り上げている。 ・キャリア教育の一環として、仕事で数学を使う人を取り上げた「学びを広げよう」を設けている。 ・小・中学校の連携を図れるよう、本文に「ちよつと確認(算数)」、1年巻末に「学びのつながり(算数の確認)」を設けている。 ・他教科の学習と関連のある内容については、「教科関連マーク」を付けている。 	
4 大日本	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「数学の世界へようこそ」で、問題発見・問題解決の流れを4段階のスナップで示している。 ・導入課題で、見通しをもち、筋道を立てて考えるための「めあて」を示している。 ・自ら主体的に学ぶ意欲を高められるよう「プラス・ワン」、章末に「力をのばそう」「活用・探究」、巻末に「補充問題」「総合問題」を設けている。 ・既習事項を生かして、調べたり考えたりする学習活動「活動」を設けている。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の充実を図るために、数学の用語や図などを使って説明する「Q伝えよう」や「学びにプラス(数学の表現を使おう)」を設けている。 ・3年の、データを活用する章では、情報処理が効果的にできるよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「利用」では、問題発見・解決の流れに沿って取り組む課題、問題を解決した後、その過程を振り返ったり評価したりすることを促す問いを設けている。 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・「防災・安全」「環境」「オーリンピック・パラリンピック」に関する内容などを教材に取り上げている。 ・キャリア教育の一環として、「社会にリンク」を設けている。 ・データの活用領域で、統計的な問題解決方法であるPDACサイクルに沿って、学習活動を設けている。 ・小・中学校の連携を図れるよう、1年巻末に「小学校算数のふり返り」を設けている。 	

	内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>11 学 図</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・既習事項を確認するための「ふりかえり」、解決に向けた見通しをもつための「見方・考え方」を設けている。 ・巻末に、個人で考察したりグループで考えを出し合ったりする際に、ホワイトボードモードで書いたり消したりできる「アイデアボード」を設けている。 ・対話的な学びが実現できるような「数学的活動」のページで、問題発見から課題解決を通じた話合いの場面を設けている。 ・学習を発展的に考えるために、巻末に「深めよう!」、巻末に「疑問を考えよう」を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・言語活動の充実を図るために、巻末に、レポート作成、発表の仕方を示した「表現する力を身につけよう」を設けている。 ・データを活用した「表現する力」を効果的にできるように、表計算ソフトウェアの使い方を示している。 ・「数学的活動」のページの左側に、1つの課題に対する問題発</p>	<p>見から解決までの過程を示している。 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・巻末に、国際的な課題に取り組むために、SDGsに触れた「今の自分を知らう」を設けている。 ・キャリア教育の一環として、巻頭に「数学の力」、章末に「役立つ数学」を掲載している。 ・巻末に、プログラミンを体験しながら論理的思考力を身に付けるよう、「プログラミン」を体験してみよう」を設けている。 ・小・中・高等学校を通じて資質・能力を育成するため、各領域ごとに「ふりかえり」、3年巻末に「高校へのかけ橋」を設けている。</p>
<p>17 教 出</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・学習のきっかけとなる問題などから生じる疑問で、新しい学習のめあてを「?」マークで示している。 ・課題意識をもつて章の学習が始められるような場面「Let's TRY」を設けている。 ・数学的活動を例示し、「問題をつかもう」「自分の考えをもとう」などのラベルを付けた「学習のプロセスページ」を設けている。 ・数学的な見方・考え方を働かせるため、巻頭や本文に「数学的な考え方」を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・言語活動の充実を図るために、問題解決のプロセス「友だちの考えを知ろう」「みんなで話し合おう」などを示している。 ・複数の生徒の考え、生徒の誤った考え方を取り上げ、自分の考えを説明したり他者の考えを聞いたたりする場面を設けている。 ・1年のデータ活用領域で、インターネットリテラシーに関する内容を掲載している。</p>	<p>・問題発見・解決能力を高めるために「工夫してノートを書こう」で、数学的活動を振り返ってまとめられた例を示している。 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・「生命の尊重」「環境」「国際理解」「伝統・文化の尊重」に関する内容などを教材に取り上げている。 ・巻末の「数学の広場」で、社会や職業の中で数学が活用されている例を示している。 ・データの活用領域で、統計的な問題解決方法であるPDACサイクルに沿って、学習活動を設けている。 ・小・中・高等学校を通じて資質・能力を育成するため、巻末に「学びのマップ」、3年巻末に「ひろがる数学」を設けている。</p>

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>61 啓林館</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・節のはじめに、数学的活動を取り入れた「学習のとびら」を設けている。 ・学習の中で働かせた「数学的な見方・考え方」を、脚注に示している。 ・「？」を設け、考えを広げたり深めたりする視点を示している。 ・「自分から学ぼう編」に、生徒自らがその学年の学習の確認をすることができ「学びのあしあと」を用意している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・言語活動の充実を図るために「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」を設けている。 ・データの活用を通じた情報活用能力を育成するために、情報通信ネットワークを使ったりデータを集めたり、コンピュータを使って整理したりする場面を取り上げている。 ・「自分から学ぼう編」の「学びをいかそう」で、問題発見・解決の流れに沿って、問題を解決し、レポートにまとめた例を掲</p>	<p>載している。 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・「防災」「環境」「国際理解」「伝統・文化の尊重」「ESD」に関する内容などを教材に取り上げている。 ・キャリア教育の一環として、「学びをいかそう」の「社会見学にいこう」で、生活や職業と関連した内容を取り上げている。 ・1・2年の「自分から学ぼう編」で、既習内容とプログラミン グ的思考を融合した課題を取り上げている。 ・小・中・高等学校を通じて資質・能力を育成するために、1・3年の「自分から学ぼう編」で「算数をふりかえろう」「学びをいかそう」を設けている。</p>	
<p>104 数研</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・問題発見・解決の過程に基づき、学習内容を習得できるよう、別冊「探究ノート」課題学習で、身の回りの問題を中心とした話題を示している。 ・何が得意ようになったか振り返るために、巻末に「学びの自己評価」を設けている。 ・学習事項に関連した話題を扱った「数学旅行」を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・考えたことを「探究ノート」に分かりやすく伝えるために、巻頭に「レポートを書くころ」を示している。 ・言語活動の充実を図るために、学んだ内容を活用して解決する「TRY」を設けている。 ・答えを求めただけでなく、説明する問かけを設けるなど、事実、方法、理由を説明する問いを構成している。 ・1ページの活用の章のはじめに、インターネットでテラシーに関</p>	<p>する内容を掲載している。 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・「防災・安全」「環境」「伝統・文化の尊重」に関する内容などを教材に取り上げている。 ・日常生活の中にある数学に着目した教材を別冊で取り上げている。 ・データの活用領域で、統計的な問題解決方法であるPPDACサイクルに沿って、学習活動を設けている。 ・小・中・高等学校を通じて資質・能力を育成するために、1年巻末で算数の内容をまとめ、全学年の別冊「探究ノート」で高等学校数学の内容の一部を掲載している。</p>	

	内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>116 日文</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・数学的活動を通じた問題発見・解決の過程と学び方のポイント を、巻頭の「数学の学習を始めよう！」で示している。 ・問題解決型の授業展開を示した「学び合おう」を設け、巻末に 「対話シート」を用意している。 ・各小節に、数学的な風方・考え方を具体的に示した「大切な見 方・考えよう」を設けている。 ・「考えよう」「話し合おう」「深めよう」のマークが付いた問いを 設けている。 ○学習の基礎となる資質・能力を育成するための工夫 ・言語活動の充実を図るために、各小節に、「話し合おう」「説明 できるかな？」を設けている。 ・初出の数学用語の使用例を「表現の例」として示している。 ・使った表現の具体例を「学習場面をイラストや写真で提示し、効 果的に活用できるように、電卓マークやコンピュータの使い方を</p>	<p>を示している。 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するた めの工夫 ・「防災・安全」「環境」「国際理解」「オリンピック・パラリンピ ック」に関する内容などを教材に取り上げている。 ・各章の「数学のたんけん」、巻末の「数学を仕事に生かす」「暮 らしと数学」で、生活や社会の中で数学が重要な役割を担って いる事例を紹介している。 ・プログラミング的思考を身に付けることができるように、全学 年に「プログラミングと数学」を設けている。 ・小・中学校の連携を図れるよう、1年巻頭に「算数の確かめ」、 巻末に「算数の確かめ（問題編）」を設けている。</p>

理科

項目	発行者の 番号・略称	総ページ	内容別配当ページ数			教材・資料等の分量						使用上の便宜・編集上の工夫等
			1分野	2分野	その他	実験・実習の例示数	観察の例示数	補充的な内容	発展的な内容	読み物資料	単元のまとめ	
2 東書	1年	272	122	120	30	15	10	29	12	33	8	<ul style="list-style-type: none"> ・A4変型判。 ・指導時期を考慮し、1分野と2分野を交えて配列している。 ・巻頭の「科学で調べていこう」で探究の流れと教科書の使い方をイラストで示している。 ・巻末に、学習した内容と関連したコラム「未来への科学」を掲載している。 ・巻末にペーパーネットの付録を設けている。 ・インターネットが活用できる学習場面には、「Dマーク」を掲載している。
	2年	322	140	150	32	25	6	30	25	56	8	
	3年	338	146	151	41	24	6	33	31	59	9	
4 大日本	1年	294	122	138	34	14	9	26	19	57	8	<ul style="list-style-type: none"> ・B5判。 ・指導時期を考慮し、1分野と2分野を交えて配列している。 ・巻頭の「理科の学習の進め方」で探究の過程を示している。 ・巻末に、地域の施設を利用して学習活動ができるよう、科学館や博物館、動物園やジオパークなどを写真で紹介している。 ・ウェブコンテンツが活用できる学習場面には、マークを掲載している。
	2年	318	148	142	28	25	6	26	27	72	8	
	3年	374	160	158	56	18	4	32	39	80	11	

理科

項目	発行者の 番号・略称	総ページ	内容別担当ページ数			教材・資料等の分量					
			1分野	2分野	その他	実験・実習の例不数	観察の例不数	種々の内容	発展的な内容	読み物資料	単元のまとめ
11 学図	1年	274	124	116	34	12	12	8	12	9	0
	2年	290	134	128	28	21	8	11	3	0	
	3年	282	131	111	40	25	8	13	7	0	
17 教出	1年	320	136	144	40	17	6	34	17	39	8
	2年	338	156	144	38	19	6	32	29	52	8
	3年	376	162	156	58	15	8	36	30	55	11

使用上の便宜・編集上の工夫等

- ・A B判。
- ・指導時期を考慮し、1分野と2分野を交えて配列している。
- ・巻頭に探究の進め方を示しており、単元内の探究では学年ごとに活動場面を示している。
- ・巻末に、探究活動時に用いるための、何度も書いたり消したりできるシートを設けている。
- ・単元内容に、単元のまとめや章末問題をはじめ、学習に関わるコラムを示すための二次元コードを掲載している。

- ・A B変型判。
- ・指導時期を考慮し、1分野と2分野を交えて配列している。
- ・巻頭に、前の学年の学習活動を例に挙げて探究の進め方を示している。
- ・巻末に、巻頭で示した探究の進め方と対応した自由研究の紹介や学習の参考となる資料、原子のモデルカードなどの付録を設けている。
- ・デジタル資料を閲覧できるウェブページを紹介するマーク「まなびリンク」を掲載している。

理 科

項目	発行者の 番号・略称	内容別担当ページ数			教材・資料等の分量						使用上の便宜・編集上の工夫等	
		1分野	2分野	その他	実験・実習の例示数	観察の例示数	補充的な内容	発展的な内容	読み物資料	単元のまとめ		
1年	61 啓林館	144	136	36	16	7	31	19	38	8	・ A B 判。 ・ 2分野を前半に、1分野を後半に配置している。 ・ 巻頭に、探究的に理科の学習を進めるためのガイド を示している。 ・ 巻末に切り取り式で付いている「探Qシート」は 単元ごとに1つある「探Q実験」と対応しており、 自分の考えを書き込むようになっていて、また、 探究のサポーターとして「探Qラボ」を設けている。 ・ 「科学にアクセス」などデジタル教材を活用でき る場面に二次元コードを掲載している。	
		162	142	28	24	4	33	23	50	8		
		174	140	50	19	6	41	27	53	10		
3年		316	332	364								

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
2 東書	<p>場面を設けている。 ○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・単元の導入に「レッツスタート！」を掲載し、問題発見の場面を設けている。 ・キャラクターと吹き出しによって対話例を示している。 ・「！課題に関する結論を表現しよう」では、自分の考えと他者の考えを比較できる場面を設けている。 ・見通しをもった学習と振り返りのために、章の冒頭と末尾に「Before&After」を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・考察で確認するポイントや考えを言葉にして議論する方法、「レポートの書き方」やレポート例を示している。 ・各節の課題に対する結論の例を各章末に示している。 ・「Dマーク」を付け、デジタルコンテンツやインタラクティブの活用事例を紹介している。 ・「科学のミカタ」で理科の見方・考え方を示している。 ・「学びをいかして考えよう」で、新たな問題を見いだす</p> <p>場面を設けている。 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・防災・減災教育への対応として自然災害について自然現象と結びつけた資料を掲載している。 ・コラム「つながる科学 防災と科学」で自然災害の仕組みや自然災害への備え方を掲載している。 ・SDGsを達成するために、学んだことを活用して考える場面を設けている。 ・(その他) ・他教科と関連する内容として、デジタルコンテンツで他教科の教科書紙面を掲載している。 ・既習事項を「これまでに学んだこと」で示している。</p>
4 大日本	<p>問題に取り組む「探究活動」を設けている。 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・各学年の学習内容と関わる防災・減災教育の資料を「安全マーク」を付けて掲載している。 ・SDGsに関連する資料に「環境マーク」を付すとともに、3年では探究活動例を示している。 ・マイクログスケール実験を紹介している。 ・(その他) ・既習事項を「これまでに学習したこと」「思い出そう」で示している。 ・「つながる」で他の単元や他教科と関連する内容を示している。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・探究の過程として、「問題を見つめよう」「振り返ろう」などのマークを付け、活動場面を示している。 ・対話的な学習の場面には、「話し合おう」などのマークを付け、キャラクターの会話場面を掲載している。 ・見通しをもった学習できるように、単元の冒頭に「これまでに学習したこと」「これから学習すること」を示している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・「観察・実験のノート書き方」「レポートの書き方」を掲載している。また、「私のレポート」でレポート例を示している。 ・巻末に情報収集のしかたとして、図書館などの施設の活用やICTの活用を掲載し、本文中にICTを用いて活動する場面を示している。 ・各単元末に、その単元で学習したことを活用して新たな</p>

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>11 学図</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・各章の冒頭に「Can-Do List」があり、「できる」ように なりた目標として章の目標事例を示している。また、 章末に自己活動欄を設けている。 ・対話的な活動場面を設け、キャラクターと吹き出しによ って対話を示している。 ・見通しをもった学習と振り返りのために、単元の学習前 後で同じ問いに答える「学びのあしあと」を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・巻頭に「ノートのかき方」や「レポートのかき方」、「発 表のしかた」を紹介している。 ・二次元コード教材として、プログラミング教材やプロロー グを教材としている。 ・チャートを導入している。 ・ページの右上に、本時の課題と理科の見方・考え方を示 している。 ・単元末に、その単元で学習した内容と、興味のあること</p>
<p>17 教出</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・「やってみよう」で疑問につなげる活動を紹介し、「考 えよう」で考え方を深めている。 ・探究の進め方について「疑問から探究してみよう」を各 単元に配置している。 ・対話による学習の場として「話し合おう」などを設け、 キーワードによる学習と振り返りのために、章の冒頭に「学 見通しをもった学習と振り返りのために、章の冒頭に「学 習前の私」を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・巻頭のレポートの書き方で、前学年での内容を基にレポ ートを書く内容を説明し、「わたしのレポート」で例を 掲載している。 ・タブレット端末やパソコン等の活用場面を具体的に示し ている。 ・「活用しよう」のマークで、学習したことを基に考えた</p>

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>61 啓林館</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・「考えてみよう」や「表現してみよう」などで、考えを表現する活動を設けている。 ・対話による学習の場面として「話し合ってみよう」を設けている。 ・「探Q実験」ではキャラクターによる対話例を示している。 ・見通しをもった学習と振り返りのために、「学ぶ前にトライ!!」「学んだ後にトライ!!」を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・「わたしのレポート」では、レポートの書き方やまとめ方を紹介している。 ・「かきこみ」欄や「探Qシート」で自分の考えを書く場面を設けている。 ・巻末にICT機器を活用した調べ方を示し、ICT機器の活用が有効な場面にICTマーカーを提示している。 ・単元末には、これまでに学習したことを活用して身近な疑問を探究する場面として「探Qクラブ」を設けている。 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・コラム「防災減災ラボ」では、その単元で学んだことに関連した話題を紹介し、3年の巻末には「南海トラフの地震」についての資料を掲載している。 ・世界的な課題について考えるためのSDGsに関連した題材を掲載し、3年では探究活動例を示している。 ・「つながる学び」で小学校の既習事項を示している。 ・「思い出ししてみよう」で、小学校と中学校の学習内容を関連させて思考する場面を設けている。</p>

使用上の便宜・編集上の工夫等

項目	発行者の 番号・略称	内容別配当ページ数						総 ペ ー ジ	
		表 現		鑑 賞		表現と鑑賞・その他	楽典・音楽史		資料
		歌唱	創作	我が国や郷土の伝統音楽	諸外国の様々な音楽				
17 教出	1年	46	7	7	15	4	3	10	
		39	4	11	18	7	3	10	
		38	4	6	15	6	13	10	
27 教芸	1年	53	7	6	11	5	4	12	
		50	6	10	15	5	3	9	
		41	4	15	12	9	7	10	

・A4変型判。
 ・「学びのユニット」を用いて、教材と学びのねらい、学びの手がかりとなる音楽を形づくっている要素などを示している。「A Message」巻頭に、共通教材にゆかりのある地を写真で紹介している。
 ・「for You」と、「作者の思いにふれる」を掲載している。
 ・教材ごとに、学習内容を明確にするための学びのポイント、新出の用語や記号、学習を生かして比べる曲などを示している。
 ・教材に関連のある用語や記号を確認しやすいように、折込みに楽典を掲載している。
 ・曲がつくられた時代区分を示すため、鑑賞教材の見開きの右端に音楽史や日本史の時代区分を掲載している。

・A4変型判。
 ・1年間の学びを俯瞰できるように、学習指導要領に示された3つの資質・能力を学習内容や教材に対応させて示している。
 ・巻頭に、音楽に関する各分野のプロフェッショナルの写真やメッセージと、写真資料「音楽ってなんだろう?」を掲載している。
 ・学習の見通しをもたせため、各教材に学習目標と学習活動を掲載している。
 ・各教材に、関連のある音楽を形づくっている要素と新出の用語や記号について記載のある資料ページを示している。
 ・西洋の音楽史を日本の歴史の視点でも捉えることができるように、「この頃、日本では...!？」を示している。

音楽（一般）

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>17 教出</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・自分の考えなどをまともな活動に展開できるよう ・表現及び鑑賞の教材冒頭に、学習活動例を示した「す ・自分の学びや見方、感じ取った曲想、曲想と音楽の構造 ・自分の関わりなどについてまとめたことを記述し、交流でき るように、「話し合おう」を設定している。 ・学習した内容を生かして学びを深められるように、教材を 関連付けた「比べてみよう」「深めてみよう」を示してい る。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・関連動画、音源、ワークシートなどを活用できるように、 ウェブコンテンツへのリンクマークを示している。 ・音楽のインターネット配信を例に、音楽に関する知的財産 権について解説している。</p>
<p>27 教芸</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・見通しをもつて学習を進めたいことを、番号で ・示し、ポイントや感想を取り出す活動を設定している。 ・「気付けよう」とか「おもしろい」とか「楽しかった」とか ・「音楽を習ったおもしろいところ」など、内容を振り返り ・つたページを振り返り、学習した内容を振り返り返 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・学習をサボらないように、音楽に関する知的財産権につ いて解説している。</p>

・コンピュータと音楽との関わりについて考えるために、
 2・3年下で「コンピュータと音楽」を掲載している。
 ・「共通事項」に示されている音楽を形づくっている要素
 の知覚・感受を窓口にして、段階的に学習を深めること
 ができるようになっている。また、ページ「どんな特徴があるか
 な？」を設定している。
 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成
 するための工夫
 ・我が国や諸外国の音楽や音楽文化への理解を深めるため
 に、音楽や楽器の共通性や固有性を考える「何が同じで、
 何が違う？」を設定している。
 ・若手演奏家や伝統音楽・芸能の担い手や後継者などを登
 用している。また、2・3年下「私たちのくらしと音楽」
 では、SDGsの視点も踏まえ、アウトリーチ、教育活
 動、音楽療法などの具体を示している。

・2・3年下で、主に西洋音楽の広がりを「木」に見立て
 た「社会を映し出す音楽」を設定している。
 ・音楽的な見方・考え方を働かせるための視点として、各
 教材に「共通事項」に示されている音楽を形づくっている
 要素を例示している。また、要素に注目して学習を進
 めるために、「注目するポイント」を示している。
 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成
 するための工夫
 ・郷土の伝統文化や歴史を継承することの意義を感じ取る
 ことのできるように、中学生が郷土の祭りや芸能の担い
 手として活躍する様子を紹介している。
 ・「生活や社会の中の音楽」では、1年「音や音楽の果た
 す役割」、2・3年上「音楽体験を拓くアウトリーチ」、
 2・3年下「仕事と音楽」について、SDGsの視点をつ
 踏まえて掲載している。

音楽(器楽合奏)

項目	発行者の 番号・略称	内容別配当ページ数							総ページ	使用上の便宜・編集上の工夫等
		管楽器(和楽器を除く)	弦楽器(和楽器を除く)	打楽器(和楽器を除く)	和楽器	合奏曲	独奏曲	楽典・運指表		
17 教出	1・2・3年	14	8	1	31	30	5	5	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4変型判。 ・ 巻頭に、写真資料「さまざまな音色や響きと奏法」、演奏家たちからメッセージと写真「With My Heart」を掲載している。 ・ 学習を見通せるように、見開きごとに学びのねらいと、そのゴールとなる曲を示している。 ・ 楽器の基礎「演奏の仕方につけよう」と教材曲集「合わせて演奏しよう」「名曲旋律集」「資料」で構成している。 ・ 各楽器の冒頭ページに、演奏家からのメッセージと写真を掲載している。 ・ 巻末には、折込みに「リコーダー運指表」「ギター&キーボードコード表」、裏表紙の裏に「いろいろな用語、記号」の資料を掲載している。
		106								
27 教法	1・2・3年	16	8	5	29	26	4	5	13	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4変型判。 ・ 巻頭に、演奏家の写真とメッセージ、写真と音楽・文化評論家の学習指導要領に示された3つの資質・能力を学習内容や教材に対応させて器楽と「アンサンブルセミナー」「アンサンブル」「楽器でMelody」の基礎と「資料」で構成している。 ・ 各楽器の冒頭ページに、演奏家のメッセージと写真、参考曲などを示している。 ・ 巻末には、「リコーダーの運指表」「ギター/キーボードコード表」「楽器の図鑑」「音楽の約束」「楽しもう！和楽器の音楽」の資料を掲載している。
		106								

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
17 教出	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識や技能を活用して学びを深めることができるようになる ・前知識や技能をまよわせないようにする ・学びのねらいやポイント、まとめの曲を掲載し、見開きごとくに学習を見通せるように構成している。 ・段階的に学習を進めるために、「Let's Play!」「Let's Try!」や、音楽的な見方・考え方を働かせて他者との協働を促す創作教材「音のスケッチ」を設けている。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連動画、音源、資料などを活用できるように、ウェブコンテンツへのリンクマークを示している。 ・必要な技能を習得できるように、各楽器の特徴や奏法などについて、細部の写真などを用いて示している。
27 教芸	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽の活動を通した学びに注目できるように、冒頭に「アインザンブルセミナー」を示している。「深めよう！音楽」では、目的をもつて学習に取り組めるように、キャラクターの吹き出しで、考えを提示している。 ・見通しをもつて学習できるように、各教材に、学習目標や学習活動などを掲載している。 ・リコーダー、箏、三味線、篠笛の演奏に親しむことができ、名曲の主題を編曲した単旋律の補助教材「楽器でMelody」を掲載している。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習をサポートするコンテンツを閲覧できる二次元コードを設けている。 ・各楽器の特徴などの知識や奏法を習得できるように、写真や図版を用いて示している。

- ・ギターや音楽の特徴、多様性を理解できるように、自分の考えなどを記述欄にまとめ、協働的な活動を展開する「何が同じで、何が違う？」を設定している。
- 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫
- ・我が国の様々な音楽文化について理解を深めるために、5種類の和楽器を取り上げている。
- ・音楽文化についての理解を深めるために、諸外国の楽器の背景にある文化や伝統を調べるコーナーを設けている。
- また、和楽器の合奏曲では、他の国の楽器を代わりに使用する例などを示している。
- 異なる楽器で同じ曲を取り上げるように、和楽器固有の音色や旋律、間などの知覚・感受を促すために、口唱歌を表記したり、「唱歌について」のページを設定したりしている。

- ・ダイヤグラムに、奏者の視点からの模式図を示している。
- ・自ら課題を解決できるように、楽器の基礎的な奏法についてQ&Aを掲載している。また、「My Melody」には、工夫した点を記録するメモ欄を設定している。
- 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫
- ・我が国の伝統的な音楽のよさに触れるために、5種類の和楽器を取り上げている。
- ・生活や社会の中の音や音楽、音楽文化とどのように関わることができるように、「バンドの世界をのぞいてみよう」や「楽しもう！和楽器の音楽」を掲載している。
- ・和楽器固有の音色や旋律、間などの知覚・感受を促し、旋律の特徴を感じ取り、実感を伴った深い学びにつなげるために、口唱歌を取り入れていく。

項目	発行者の 番号・略称	内容別配当ページ数						教材・資料等の分量				使用上の便宜・編集上の工夫等
		総ページ	表現(絵画や彫刻)	表現(デザインや工芸)	鑑賞	その他	総題材数	生徒の作品	作家等の作品等	生徒の活動場面	参考資料等	
1年	9 開隆堂	66	14	12	14	26	17	65	107	34	115	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4変型判。 ・ 1年及び2・3年の2分冊で構成している。 ・ 1年では「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びの資料」、2・3年ではそれに加えて「鑑賞」「まとめ」で構成している。 ・ 題材ごとの「学習の目標」を3つの観点で示している。 ・ 題材に二次元コードを示し、コンテンツやアーティストのアアルの閲覧を可能にしている。 ・ 表紙には2冊とも日本の立体的な作品を掲載している。
		122	22	26	42	32	39	93	324	7	107	
1年	38 光村	80	16	14	16	34	17	73	137	21	154	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4判。 ・ 1年及び2・3年の2分冊で構成している。 ・ 「はじめに」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習を支える資料」で構成され、さらに「特別展示室」「作家紹介」「美術史ワード」「作品紹介」のページを設けている。 ・ 題材ごとの「目標」を領域ごとに示している。 ・ 脚注に二次元コードを示し、コンテンツの閲覧や音声ガイドの利用を可能にしている。 ・ 一部に風合いのある紙やトレーシングガーパーを使用中。
		104	24	16	28	36	22	64	300	6	90	

美術

項目	総ページ	内容別配当ページ数				教材・資料等の分量				使用上の便宜・編集上の工夫等	
		表現（絵画や彫刻）	表現（デザインや工芸）	鑑賞	その他	総題材数	生徒の作品	作家等の作品等	生徒の活動場面		参考資料等
116 日 文 発行者の 番号・略称	1年	14	14	14	32	19	113	100	38	198	・A4変型判。 ・1年及び2・3年上、下の3分冊で構成している。 ・「オリエンテーション」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びを支える資料」で構成され、「学びを支える資料」を更に「技法」「色彩」「賞」に分類している。 ・題材ごとの「学びの目標」を3つの観点で示している。 ・作品に二次元コードを示し、コンテンツの閲覧を可能にしている。 ・一部に通常のページより厚い用紙を使用している。
	2・3年 上	12	12	16	24	18	55	168	5	89	
	2・3年 下	14	14	12	20	17	63	122	8	39	

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
9 開隆堂	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・巻頭に、中学校で学習する内容を地図のイメージで示している。 ・「共に学ぶ美術」などで、協働・協力して活動する内容を示している。 ・「学習のポイント」「美術の用語」や、発想や構想のヒント、制作の進め方などを示している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・「作者の言葉」で、作家のエピソードや生徒の工夫したポイントなどを示している。 ・「学びの資料」で、写真やビデオ、コンピュータなどの映像メディアの活用について示している。 ・まとめの「美術の力を生かして社会と関わる」で、美術の広がりについて取り上げている。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・「安心と安全のデザイン」などで、防災や災害復興について取り上げている。 ・「暮らしに生きている美術」で、美術で学んだ力を生かして社会で活躍している人物を取り上げている。 ・日本文化について取り上げる「日本らしさ」のページを14ページ設けている。 ・イベントやプロジェクトなど、地域文化について取り上げている。 ・「デザインや工芸で学ぶこと」の導入で、SDGsを取り上げている。 ・「よみがえる材料」「リノベーション、使い続ける工夫」で、資源の活用について取り上げている。 ・他教科等と関連するページにマークと内容項目を示している。</p>
38 光村	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・巻頭に、小学校の図画工作との接続や、中学校で学習する内容などを示している。 ・「表現 みんなの工夫」などで、中学生の思いや考えを示している。 ・各題材のはじめや終わりに鑑賞を位置付けるなどして、表現と関連させている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・「作者の言葉」で、作品の主題や工夫したポイントなどを示している。 ・「学習を支える資料」で、写真や映像の撮影について示し、映像で広がる世界を取り上げている。 ・「発想を広げる」で、表現や鑑賞の学習に利用できる様々な発想方法を示している。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・災害時に役立つデザインや、災害復興を願った作品などを取り上げている。 ・LGBTやいじめをテーマにした生徒作品を取り上げている。 ・「日本の世界文化遺産」のページや、47都道府県全ての伝統工芸を紹介するページを設けている。 ・「メッセージを伝える」などで、平和について考える題材を取り上げている。 ・「安らぐ場をつくる」「地域と美術のつながり」で、地域や環境について取り上げている。 ・「材料に命を吹き込む」「材料の可能性」で、身の回りにある材料を取り上げている。 ・他教科とのつながりをコラム形式で示し、道徳の内容項目をページ下部に示している。</p>

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・巻頭に、小学校の図画工作との接続と、中学校で段階的に学ぶ内容を示している。 ・「仲間との交流の中から」で、共同制作の題材を取り上げるなどしている。 ・「造形的な視点」で、図版を示した具体的な問いかけをしている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・「作者の言葉」で、作品の主題や工夫したポイントなどを示している。 ・「学びを支える資料」で、写真の撮影方法や動画の制作について示している。 ・デザインや工芸の分野で、他者意識が起点となる題材を設定している。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・ピクトグラムのデザイン等で、安全と食について取り上げている。 ・「学びの言葉」「社会に生きる美術の力」などで、多方面で活躍している人物を取り上げている。 ・「日本の世界文化遺産」「受け継ぐ伝統と文化」のページを設けている。 ・各地域の伝統文化や、作品展示の情景写真などを取り上げている。 ・伝達のデザインについて学ぶ題材で、SDGsを取り上げている。 ・自然との共生や、環境について考える題材を取り上げている。 ・道徳と関連するページにマークと内容項目に対応した文章を示している。</p>
116 日文	

保健体育

項目	内容別配当ページ数										総ページ	
	保健分野			体育分野			複合	資料	その他			
	健康な生活と疾病の予防	心身の機能の発達と心の健康	傷害の防止	健康と環境	運動やスポーツの多様性	と学び方や安全な行い方や効果				文化としてのスポーツの意義		
<p>2 東書</p> <p>1・2・3年</p>	45	24	23	17	7	7	7	31	32	13	206	<p>・ A B判。</p> <p>・ 「この教科書の使い方」や「保健体育の学習方法」で具体的な使い方や学習の方法を示している。</p> <p>・ 各單元ごとに「見つける」「課題の解決」「広げる」で構成している。</p> <p>・ 「学習課題」を示している。また、キーワードを示し、キーワードの解説を巻末に示している。</p> <p>・ デジタルコンテンツを用意し、その箇所を「Dマーク」で示している。</p> <p>・ 各章ごとに「章末資料」と「学習のまとめ」があり、「学習のまとめ」は確認問題となっている。</p>
<p>4 大日本</p> <p>1・2・3年</p>	37	21	21	13	7	7	7	31	42	10	196	<p>・ B5変型判。</p> <p>・ 「この教科書の使い方」「1時間の学習の主な流れ」「保健体育の学び方」で具体的な使い方などを示している。</p> <p>・ 全ての小單元で、本文は左ページ、資料は右ページに記載している。</p> <p>・ 各項目ごとに「つかもう」「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」「活用して深めよう」で構成している。</p> <p>・ 各章ごとに「章末資料」と「学びを活かそう」「章の学習のまとめ」があり、より深く理解するための課題や重要な言葉の解説を示している。</p>

使用上の便宜・編集上の工夫等

保健体育

項目	内容別配当ページ数											
	総ページ	保健分野				体育分野			複合	資料	その他	
		健康な生活と疾病の予防	心身の機能の発達と心の健康	傷害の防止	健康と環境	運動やスポーツの多様性	運動やスポーツの意義や効果 と学び方や安全な行い方	文化としてのスポーツの意義				
50 大修館 発行者の 番号・略称	198	46	28	20	18	8	10	10	24	16	18	使用上の便宜・編集上の工夫等
224 学研	206	44	24	24	16	8	8	8	31	29	14	・ A B 判。 ・ 「この教科書の使い方」や「保健体育の学び方」で具 体的な使い方などを示している。 ・ 各項目ごとに「つかむ」「身につける・考える」「まと める・振り返る」で構成している。 ・ 「ほりさげる」で本文に出てくる言葉を解説してい る。 ・ 各章ごとに「学習のまとめ」があり、確認問題となっ ている。 ・ 「きょうの学習」を示している。また、キーワードを 示し、キーワードの解説を巻末に示している。 ・ A B 判。 ・ 「この教科書の使い方」や「さまざまな学習方法」で 具体的な使い方などを示している。 ・ 各項目ごとに「課題をつかむ」「考える・調べる」「ま とめる・深める」で構成している。 ・ 「情報サプリ」や「リンク」で学習内容に関連した情 報を示している。 ・ 各章ごとに「探究しようよ！」と「章のまとめ」があ り、「章のまとめ」は確認問題となっている。 ・ 各学年の最後の「学習の終わりに」で、振り返りをま とめるようになっている。

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
2 東書	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」で考えたり話し合ったりする活動を設定し、「学習課題」で学習で解決する課題を設定している。 ・「課題の解決」で課題の解決への取組があり、「広げる」で学習したことを生活に当てはめて考えたり、更に調べたりする活動を設定し、自ら課題を発見し、対話をしながらから学びを深めていくことができるよう構成している。 ・単元内で主体的に学ぶ活動ができるような質問や実技・実習などを設けている。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の扉で関連する小学校や高等学校の学習内容を示すとともに、道徳との関連を示している。 ・学習内容に関連する動画や資料を用いて学習ができるよう、ページ内に「Dマーク」を設けている。 ・各章末に「章末資料」と復習問題「学習のまとめ」を、巻末にキーワードの解説を示している。 	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化し続ける社会へ対応できるよう、性の多様性、共生社会の実現、生涯スポーツ、オリンピック・パラリンピック、キャリア教育、安全について（防災、防犯、交通安全、応急手当、心肺蘇生など）、コミュニケーション、情報活用能力の育成、SDGs、感染症、がん教育、熱中症と放射線などの今日的な教育課題を取り上げている。
4 大日本	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のねらい」で各単元の学習内容を通して解決したい学習課題を、「つかもう」で導入の活動を設定している。 ・「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」で課題の解決に向けた学習活動を設定し、「活用して深めよう」で学習したことを活用しながら、学びをより深める課題を設定している。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の扉で章のイメージや学習内容、小・中・高等学校の系統性を示している。 ・心肺蘇生法やAEDの使い方が折込みになっており、広げたまま実習できるようにしている。 ・各章末にある「学習のまとめ」で学習のポイントとなる重要な言葉を示している。また、まとめの問題があるウエブページを示している。 	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの意義や価値観等の理解につなげられるようにしている。 ・防災、交通事故の加害責任、熱中症への対処のしかた、ながらスマホなどの「安全教育」、気象情報の適切な利用、プラスチックゴミなどの「環境教育」のほか、「がん教育」「人権尊重、道徳教育」「キャリア教育」「情報活用能力、情報モラル教育」などを取り上げている。

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
<p>50 大修館</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・各項目で、「きょうの学習」での発問を通して、学習課題を設定している。 ・各項目の冒頭で、「課題をつかむ」を通して、振り返ったり、意見を出し合ったり、話し合ったりする活動を設定している。 ・「学習のまとめ」で、話し合ったり、生活に生かしたり、確認したりする活動を設定している。 </p> <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題、重要点を明確化し、イラストや写真、見やすい図表で本文を補足している。 ・新しく保健で示された技能のページで、目的やポイントを明確化し、間違いやすい点を丁寧に解説している。 ・随所に、中学生の興味・関心の高い話題や心に響く事例等を掲載している。 ・章のまとめは、観点別に分かれた問題を設定している。 </p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会との関連を可視化し、オリンピックや共に生きる社会、世界で取り組むSDGsなど、日常生活から国際社会までの保健体育に関わる出来事を示している。 ・災害時の適切な対応などの「防災教育」、被害を回避するなどの「犯罪被害の防止」、相談できる機関の情報提供などの「心の健康と個人差への配慮」、具体的な健康課題などの「スマートフォンと健康」、症状やリスクなどの「がん教育」を示している。 </p>
<p>224 学研</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・各項目で、学習の目標を設定している。 ・各項目の冒頭で、「課題をつかむ」を通して、振り返ったり、意見を出し合ったり、読み取ったりする活動を設定している。 ・「考える・調べる」「まとめ・深める」を通して、課題解決に向かい、実生活につながるような活動を設定している。 </p> <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・各章の扉に、小学校の学習内容と高校での学習内容を簡潔に示している。 ・新しく保健で示された技能のページで、知識と一体となり、チェックしやすいよう手順を提示している。 ・巻末に、「キーワードで見える保健体育の学習内容」を設け、体育実技や各教科などとの関連を示している。 ・巻末評価は観点別の振り返り項目を設定している。 </p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・これからの日本のスポーツの魅力や価値、意義について考えられるようにしている。 ・未来について考えることができるよう、防災、がん教育、SDGs、ヘルスポモーション、いじめ、LGBT、共生、特別支援への対応、プログラミング教育、STEAM教育、キャリア教育などの今日的な教育課題を取り上げている。 </p>

技術・家庭 (技術分野)

項目 発行者の 番号・略称	総 ペ ー ジ	内容別配当ページ数						使用上の便宜・編集上の工夫等
		材料と加工の技術	生物育成の技術	エネルギー変換の技術	情報の技術	資料	その他	
1・2・3年 2 東書	306	70	50	60	66	51	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ フォント、カラーユニバーサルデザイン、項目の記述位置の統一など、ユニバーサルデザインに配慮している。 ・ 各分野の技術について、理解しやすくするために写真や図表を掲載している。 ・ 各編の構成を統一し、見開きページの右端には色帯を付けて各編、章に分類している。 ・ 編の各章の冒頭に「目標」を設けている。 ・ ページ構成を目標・導入・展開・まとめ・自己評価と、一連の授業の流れに沿ったものにしてている。
1・2・3年 6 教図	344	80	52	70	94	37	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 4変型判。 ・ 本冊と別冊「技術ハンドブック」の2分冊構成。 ・ ハンドブックでは基礎技能を説明している。 ・ ユニバーサルデザインに配慮している。 ・ 実践しやすいうよう、写真等を用いて各工程を説明している。 ・ ガイダンスでは安全や生活を支える技術の例を取り上げ、学習方法や将来の生活や社会とのつながりについて説明している。 ・ 自己評価できるように、各項目に目標を示し、振り返りを設けている。

技術・家庭 (技術分野)

項目	発行者の 番号・略称	1・2・3年	内容別配当ページ数						使用上の便宜・編集上の工夫等	
			総ページ	材料と加工の技術	生物育成の技術	エネルギー変換の技術	情報の技術	資料		その他
	9 開隆堂		302	74	46	54	72	48	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B 判。 ・ フォント、カラーユニバーサルデザインなど、ユニバーサルデザインに配慮している。 ・ 実践しやすいよう、図や写真を用いて工程等を説明している。 ・ ページごとに「豆知識」を掲載し、語句や項目を説明している。 ・ ガイダンスでは、技術の見方・考え方を伝統技術や現在の技術のしくみを用いて示している。 ・ 自己評価ができるよう、各項目にまとめを設けている。

技術・家庭(技術分野)

	内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>2 東書</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・「活動」では、グループでの対話的な活動を行う内容を提示している。 ・各章の冒頭の「考えてみよう」で、主体的な学びに向かうための課題を示している。 ・「技術分野の学習方法」で、学習の流れやグループ活動の手法、まとめと発表方法を説明している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・ガイダンスで、実際の製品の課題解決例を基に「問題解決のプロセス」を例示し、PDCAサイクルを用いた問題解決方法を提示している。 ・各章の学習内容と他教科、小学校での学習内容との関連を示している。 ・実習等でのつまづきを減らし、興味関心をもたせるため、二次元コードや問題解決例を示している。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・産業ロボットやGAP（農業生産工程管理）など、実際の生活の中の技術を例示し、その工夫がどのような問題解決につながっているかを提示している。 ・「問題の発見と課題の設定」で、技術の見方・考え方を働かせ、生活や社会の中から問題を発見し、課題を設定できるように提示している。 ・Society5.0、SDGs、防災・安全への取組、情報モラルなどの現代的な課題と技術との関わりについての項目を設けている。 ・「学んだことを社会に生かす」で、社会の中で技術に携わる人の紹介を通して、学習した内容を今後生かしていくことを示している。</p>
<p>6 教図</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・各編に「やってみよう」を設け、主体的な学びに向かうための課題を示している。 ・各編の2章の設計・計画では、問題解決的な学習の過程を学べるよう4つのステップで流れを示している。 ・自分の考えをまとめ、表現できるように、切り取り式ワークシートを付けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・「見つける」「学ぶ」の項目を「ふり返る」で評価できるように単元ごとに目標を設けている。 ・各編の1章では、安全な作業などに配慮した実習の基礎技能を学ぶ別冊「技術ハンドブック」を設けている。 ・生活や身近な技術を用いて基礎的・基本的な知識や技術が学習できるよう、全ての内容項目について、1～3章（D編情報の技術のみ4章）に統一している。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・今日的な教育課題への配慮として、環境や知的財産、安全、防災といったマークを設けている。 ・各編の3章（D編情報の技術のみ4章）に「社会の発展と技術におけるプラスとマイナス」として、技術の発展と持続可能な社会の発展との関わりについて取り上げている。 ・環境保全や国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう、将来の社会について、Society5.0やSDGsに関する特集を設けている。 ・E編として「夢をかねえな技術」を設け、これまで学習してきた各領域の知識・技術を活用した題材を示している。</p>

技術・家庭(技術分野)

	内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>9 開隆堂</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・疑問をもって考えることができるよう、各項目に「調べよう」「考えよう」を設けている。 ・自己評価を行い、自分自身で確かめることができるよう、項目ごとに「学習の目標」「ふり返り」の欄を設けている。 ・自分の考えをもつことができるよう、分野の最後のページに「学習を深めよう」を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・「トレードオフ」の概念を用い、問題解決に当たり、何を優先にするかという考え方の工夫を示している。 ・実際に取り組むことで学習内容の理解につながる「実験」の項目を設けている。 ・二次元コードを用いて、作業の動きや要点の説明を動画で示している。また、各学習項目で小学校や他教科との関連を示している。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・「参考」を設け、現在の技術の状況やある製品に使用されている技術の工夫を示している。 ・現代的な課題について考え、問題解決を図る「課題」欄を設けている。 ・持続可能な社会の構築を考えることができるよう、各分野において歴史を示し、技術を工夫し創造する内容を記載している。 ・Society5.0や最先端の技術を掲載し、学習内容を深めたり広げたりしていくことができるよう、「探究」を設けている。 ・社会とのつながりや様々な解決方法を示した実習例を掲載している。</p>

技術・家庭(家庭分野)

項目	発行者の 番号・略称	内容別配当ページ数							総ページ	使用上の便宜・編集上の工夫等
		家族・家庭生活	健康・安全で豊かな食生活	健康・快適・安全で豊かな農生活	健康・快適・安全で豊かな住生活	消費生活・環境	資料	その他		
1・2・3年	2 東書	71	88	52	24	28	35	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 学習指導要領に示されている学習内容を、ガイダンス、B、C、Aの順に配列し、「生活の課題と実践」をまとめて示している。 ・ 各内容の冒頭に目録とキーワードを示している。 ・ 「せいかつメモ」で学習内容に関する知識を示している。 ・ 他の学習項目や他教科との関連を示している。 ・ 折込みで食材の写真を実物大で示し、その名称と重量を記載している。 ・ 巻末に、切り離して活用できる防災関係資料を綴じ込んでいる。 ・ 実習の手順を横の流れで示している。 ・ 二次元コードでデジタルコンテンツが活用できることを示している。 	
1・2・3年	6 教図	62	94	50	24	44	27	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 4変型判。 ・ 学習指導要領に示されている学習内容を、ガイダンス、A、B、Cの順に配列し、各内容ごとに「生活の課題と実践」を示している。 ・ 各節の冒頭にめとキーワードを示している。 ・ 「参考」や「コラム」で学習内容や用語を説明している。 ・ 他の学習項目や他教科との関連を示している。 ・ 食品や切った後の野菜、子どもの手形などの写真を示したり、料理の失敗例を掲載したりしている。 ・ 巻末に付録シートを綴じ込んでいる。 ・ 実習の手順を縦の流れで示している。 ・ 二次元コードでデジタルコンテンツが活用できることを示している。 	

技術・家庭(家庭分野)

項目	発行者の 番号・略称	総ページ	内容別配当ページ数							使用上の便宜・編集上の工夫等
			家族・家庭生活	健康・安全で豊かな食生活	健康・快適・安全で豊かな衣生活	健康・快適・安全で豊かな住生活	消費生活・環境	資料	その他	
1・2・3年	9 開隆堂	302	70	92	46	20	40	20	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 学習指導要領で示されている学習内容を、ガイダンス、A、B、Cの順に配列し、「生活の課題と実践」をまとめて示している。 ・ 各節の冒頭に目標を示している。 ・ 「豆知識」で学習に関連した情報を説明している。 ・ 他の学習項目や他教科等との関連を示している。 ・ 折込みで食材の写真を実物大で示し、その名称と重量を記載している。 ・ 巻末に防災に関する資料をまとめて示している。 ・ 美習の手順を横の流れで示している。 ・ 二次元コードでデジタルコンテンツが活用できることを示している。

		内容の程度・組織・取扱い等の特徴
<p>2 東書</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・学習のはじめに簡単な活動例を示している。 ・食生活、衣生活などの消費行動の例を取り上げて、その行動に関わる意思決定のプロセスを示し、活用できるようにしている。 ・調理実習や布を用いた製作実習などで、題材の工夫例を「私のオリジナル」で示している。 ・「生活に生かそう」「まとめよう」を設け、自己評価を記入する欄を設けている。 ・「思考ツール」を設け、思考ツール例を示している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・「いつも確かめよう」を設け、基礎的な技能をまとめている。 ・写真やイラストを用いた紙面構成となっている。 ・具体的な調理や製作を通して技能が習得できるよう、簡単に取り組みやすい実習例を示している。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・現代的な諸課題を意識しながら学習が進められるように、「環境」「消費者」「伝統文化」「防災」「情報モラル」といったマークを設けている。 ・防災への備えを含め、持続可能な社会についての関連内容を設けている。 ・将来を見据えた職業観、勤労観を育成するための「プロに聞く！」を設けている。</p>
<p>6 教図</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・学習のはじめに対話例がある。 ・「やってみよう」「話し合ってみよう」等、実践的・体験的な活動を通して学習できるワークが設定されている。 ・身に付けた知識・技能にフィードバックできる「課題設定のヒント」を示している。 ・自己評価等を記入することができるよう、「ふり返る」の欄を設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・実践的・体験的に知識や技能を身に付けることができるよう、「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」の流れで展開している。 ・写真やイラストを用いた紙面構成となっている。 ・具体的な調理や製作を通して技能が習得できるよう、簡単に取り組みやすい実習例を示している。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・現代的な諸課題を意識しながら学習が進められるように、「少子高齢化への対策」「日本の生活文化の継承」「消費生活の変化」「自然災害への備え」「環境保全」など現代社会の課題を取り上げている。 ・防災について、各内容で取り上げている。 ・将来を見据えた職業観、勤労観を育成するため、各分野の人からのメッセージを示している。</p>

	内容の程度・組織・取扱い等の特徴
<p>9 開隆堂</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・学習のはじめに導入課題を示している。 ・学習の目標、導入課題、本文と展開、振り返りで自己評価する形を基本としており、問題解決学習への取り組み方を視覚的に示している。 ・「やってみよう」「話し合ってみよう」「発表してみよう」を設け、実践例を示している。 ・「生活にいかそう」を設け、実践的・体験的な活動を通して学習できるワークを設けている。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・実践的・体験的に知識や技能を身に付けることができよう、「導入の課題」「展開」「振り返り」の流れで展開している。 ・写真やイラストを用いた紙面構成となっている。 ・具体的な調理や製作を通して技能が習得できるよう、簡単に取り組みやすい実習例を示している。</p>
	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・現代的な諸課題を意識しながら学習が進められるように、「安全」「衛生」「環境」「防災」「伝統文化」を取り上げている。特に、「伝統文化」は特設ページを設けている。 ・持続可能な社会について、全ての内容で扱っている。 ・将来を見据えた職業観、勤労観を育成するため、各分野で活躍する人を取り上げている。</p>

項目	発行者の 番号・略称	総 ペ ー ジ	内容別配当ページ数			教材・資料等の分量					
			本課	資料・付録	その他	聞くこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	読むこと	書くこと	統合的な活動
1年	2 東書	174	121	44	9	42	35	5	23	24	46
		166	120	37	9	15	21	4	36	15	57
		162	108	45	9	16	13	2	25	13	49
2年	9 開隆堂	172	122	41	9	50	25	11	27	17	24
		172	118	45	9	38	25	13	15	19	23
		164	112	44	8	34	23	13	17	20	22

使用上の便宜・編集上の工夫等

・A4判。
 ・小学校との接続を円滑にするため、小学校教科書と同じ構成、アイコン等を使用している。1年の前半に小学校既習表現を使った話す活動を設けている。
 ・巻末に「CAN-DOリスト」の提示がある。
 ・小学校の単語、Activityに関連したWord Room等を付属している。
 ・ユニバーサルデザインに配慮し、英語にオリジナルの書体を使用している。また、紙面上のオリジナル配置を統一している。

・A B判。
 ・小学校との接続を円滑にするため、新出表現は小学校教科書と同じプロセ스로導入し、小学校既習表現を使った帯活動を設けている。
 ・巻末にCAN-DOリストの提示がある。
 ・巻末に小学校で学んだ単語、アクションカード等を付属している。
 ・ユニバーサルデザインに配慮し、1年の前半は小学校の教科書と同じフォントを使用している。また、カラーユニバーサルデザインを用いている。

項目	発行者の 番号・略称	総ページ		内容別配当ページ数						教材・資料等の分量				
		本課	資料・付録	その他	聞くこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	読むこと	書くこと	統合的な活動	活動			
											聞くこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	読むこと
1年	15 三省堂	137	41	8	32	22	4	13	16	10	・A B判。 ・小学校との接続を円滑にするため、1年のはじめに 小学校での既習事項を扱っている。また、Lesson 1 ～3では聞く活動、話す活動を導入としている。 ・巻末に「What Can I Do?」の提示がある。 ・巻末にコミュニケーション活動で使える語彙のリス ト等を付属している。 ・ユニバーサルデザインに配慮し、UDフォントを使 用している。また、カラユニバーサルデザインを 用いている。			
		118	53	7	22	11	4	7	7	15				
		124	55	7	21	12	4	7	7	14				
1年	17 教出	126	41	9	45	18	10	7	9	13	・A B判。 ・小学校との接続を円滑にするため、1年のSpring Board で小学校での既習事項を扱っている。また、Lesson 1～3では聞く活動、話す活動を導入としている。 ・巻末に「Can-Do自己チェックリスト」の提示がある。 ・巻末にネームカード、赤マスキングシート、小学 校の単語リスト等を付属している。 ・ユニバーサルデザインに配慮し、UDフォントを使 用している。また、図版に模様を入れるなど色調以 外でも識別できるようにしている。			
		122	47	9	38	13	10	9	8	10				
		114	55	9	24	5	8	5	8	6				

項目	発行者の 番号・略称	総ページ	内容別配当ページ数			教材・資料等の分量					
			本課	資料・付録	その他	聞くこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	読むこと	書くこと	統合的な活動
1年	38 光村	190	117	62	11	46	36	8	7	32	29
		190	114	65	11	46	33	9	16	28	24
		190	99	80	11	41	29	12	12	25	22
1年	61 啓林館	158	113	37	8	39	58	25	37	36	2
		166	117	41	8	37	31	38	33	35	8
		150	97	45	8	27	23	27	28	28	7

使用上の便宜・編集上の工夫等

・A B判。
 ・小学校との接続を円滑にするため、1年巻頭では小学校で慣れ親しんだ話題を用いた活動を扱うとともに、4つのコミュニケーションスキルを示している。
 ・巻末に「CAN-DO List」を提示している。
 ・巻末に話す活動を中心に行う帯教材、コミュニケーション活動で使える語彙のリスト等を付属している。
 ・ユニバーサルデザインに配慮し、UDフオントを使用している。また、色だけでなく形でも識別できるようにしている。

・A B判。
 ・小学校との接続を円滑にするため、1年巻頭で小学校の既習語彙を音声と文字で扱っている。また、1年で小学校の既習事項を繰り返し扱っている。
 ・巻末に「Can-Do List」の提示がある。
 ・各課での発信活動を活用できる関連語彙のリストを付属している。
 ・ユニバーサルデザインに配慮し、1年時の英語部分にはUDフオントを使用し、全学年で単元ごとの学習項目の配置を一定にしている。

内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
2 東書	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもった学習に取り組めるよう、各UnitにGOALを示す。 ・音声や動画が確認できるよう、二次元コードを活動ごとに配置している。 ・UnitやStageのまとめとしてActivityを設け、4技能5領域を統合した活動を行うよう構成している。各Unitの中をまとめる活動を設定し、複数課ごとに自分の考えをまとめる活動を設定している。 <p>○学習の基礎となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語能力や問題発見・解決能力等の向上を目指し、各Unitに自分の考えをまとめたり伝えたりする活動を設定している。 ・情報活用能力育成のため、調査結果などをコンピュータでまとめたり、写真やグラフを使い新聞などを作ったりする活動を設定している。
9 開隆堂	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもった学習に取り組めるよう、各Unitの最初部分に目標・評価の観点を示している。マードで示した部分の音声を確認できるよう、二次元コードを配置している。「表現」の「習得」→「思考」→「表現」の順に構成している。「表」から学ぶ協働学習を設定し、Interactでは即興のやり取りやその要点を書くよう構成している。 ○学習の基礎となる資質・能力を育成するための工夫 ・用いる場面を導入として、肯定文、否定文、疑問文をまとめ、社会的な場面を構成している。 ・「表現」の「習得」→「思考」→「表現」の順に構成している。 ・「表現」の「習得」→「思考」→「表現」の順に構成している。 ・「表現」の「習得」→「思考」→「表現」の順に構成している。

○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫

- ・言語や文化に対する理解を深められるよう、多様な世界の国々について扱っている。また、物事を自らの問題として捉えらるよう、学習内容に関する意見を書く活動を設定している。
- ・SDGsに関連した題材を学習内容に応じて全ての学年で扱っている。

○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫

- ・各学年とも環境、人権、多文化への理解等に目を向ける題材を扱っており、事実を学ぶだけでなく、自らの考えを発信するよう構成している。また日本文化について学習し、それらを自らの言葉で発信するよう構成している。
- ・SDGsに関連した題材を学習内容に応じて全ての学年で扱っている。

	内容の程度・組織・取扱い等の特徴	
<p>15 三省堂</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・見通しをもつて学習に取り組めるよう、各LessonにGoalを示している。音声や動画を確認できるよう、二次元コードを配置している。 ・各Lesson中にペアワークやグループワークを設定し、話し合ったり、自分の考えを発表したりする活動がある。LessonのまとめとしてProjectを設定し、4技能5領域を活用して発表等を行う活動を設定している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・言語能力の向上を目指す。各Lesson中にコミュニケーション活動を設定している。 ・情報活用能力の向上を目指す。Projectにおいて、話し合いやグラフから読み取った情報をまとめ発表する活動を設定している。教科等横断的な視点から学習の基盤を育成することを目指す。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・各Lessonの題材は、自然や文学、伝統文化等のジャンルを扱い、事実を学ぶだけでなく、グループワークや「書く」活動を設定し、話し合ったり、自分の考えを発表したり書いたりして、深く考えるように構成している。SDGsに関連した題材を学習内容に応じて全ての学年で扱っている。</p>
<p>17 教出</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・見通しをもつて学習に取り組めるよう、各Lesson等のGoalを示し、Lessonの最後に振り返りを設定している。音声を確認できるよう、各Lessonに「まなびリンク」の二次元コードを配置している。また、学習の手立てを示したHow to Studyを設定している。 ・英語で表現・発信する力を付けるために、グループなどで協働しながら生徒自身の主体的な思考・判断を加えた表現活動を設定している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・言語能力の向上を目指す。「聞く・読む」活動から、自分の考えを加えて「話す・書く」活動につなげている。また、グループなどで協働して問題を解決する学習活動を設けている。 ・教科等横断的な視点から学習の基盤を育成することを目指し、他教科等につながる題材を取り上げている。</p>	<p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・生徒の発達段階から始まり、学年や課が進むごとに日本の文化や伝統、異文化理解、社会的な話題や題材などに視点が広がっていきように構成している。 ・SDGsに関連した題材を学習内容に応じて全ての学年で扱っている。</p>

項目	総ページ	内容別配当ページ数				使用上の便宜・編集上の工夫等	
		A 主として自分自身に関すること	B 主として人との関わりに関する こと	C 主として集団や社会との関わり に関すること	D 主として生命や自然、崇高な ものとの関わりに関する こと		その他
2 東書 発行者の 番号・略称	1年	32	35	63	38	28	<p>・A B判。道徳の授業における学習の進め方と学習活動を紹介するページを設定している。</p> <p>・巻末に学習の振り返る切り取り式のページを設けている。</p> <p>・心情的な代替又は補充用として活用できるページを設けている。</p> <p>・本文の掲載に際して、掲載した内容を要約し、巻末に載せている。</p> <p>・本文の掲載に際して、掲載した内容を要約し、巻末に載せている。</p>
	2年	33	33	69	41	28	
	3年	35	32	75	34	28	
17 教出	1年	41	38	69	41	29	<p>・B 5判。本文の掲載に際して、掲載した内容を要約し、巻末に載せている。</p> <p>・本文の掲載に際して、掲載した内容を要約し、巻末に載せている。</p> <p>・本文の掲載に際して、掲載した内容を要約し、巻末に載せている。</p> <p>・本文の掲載に際して、掲載した内容を要約し、巻末に載せている。</p>
	2年	31	33	90	21	27	
	3年	23	28	87	37	27	

道 徳

項目	発行者の 番号・略称	総 ペ ー ジ	内容別配当ページ数					使用上の便宜・編集上の工夫等
			A まわして自分自身に関すること	B まわして人との関わりに関する こと	C まわして集団や社会との関わり に関すること	D まわして生命や自然、崇高なも のとの関わりに関すること	その他	
38 光村	1年	197	30	35	59	31	42	・B5判。本文教材の代替又は補充用として活用できる教 材を掲載している。おける学習の進め方や道徳を学ぶ意 義に頭についで内容を1時間ごと「学びの記録」の設定して いる。巻末考案を、を記述する。
		205	43	29	58	31	44	
		205	41	27	61	28	48	
116 日文	1年	240	37	41	86	35	41	・B5判。別冊「道徳」の2分冊構成。 ・本冊と別冊「道徳」をセットで授業での学び方について紹介 している。巻末考案を、を記述する。
		240	32	39	81	43	45	
		240	31	34	96	39	40	

項目	発行者の 番号・略称	総 ペ ー ジ	内容別担当ページ数					使用上の便宜・編集上の工夫等
			A 主として自分自身に関する事	B 主として人との関わりに関する事	C 主として集団や社会との関わり に関する事	D 主として生命や自然、崇高な ものの関わりに関する事	その他	
224 学研	1年	186	36	34	60	32	24	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 巻頭に道徳科で学ぶことや考えることについて紹介するページを設けている。 ・ 巻末に「道徳科の学びを振り返るページ」を設けている。 ・ 教員が「道徳科の学びを振り返るページ」を設けるようになっている。 ・ 教員が「道徳科の学びを振り返るページ」を設けるようになっている。 ・ 教員が「道徳科の学びを振り返るページ」を設けるようになっている。
		198	44	32	60	38	24	
		198	40	27	66	39	26	
232 廣あかつき	1年	238	44	40	67	44	43	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判。 ・ 別冊「中学生の道徳ノート」の2分冊構成。 ・ 別冊「中学生の道徳ノート」の2分冊構成。 ・ 別冊「中学生の道徳ノート」の2分冊構成。 ・ 別冊「中学生の道徳ノート」の2分冊構成。 ・ 別冊「中学生の道徳ノート」の2分冊構成。
		222	40	37	62	40	43	
		218	42	31	68	34	43	

道 徳

項目	発行者の 発行号・略称	総 ペ ー ジ	内容別配当ページ数					使用上の便宜・編集上の工夫等
			A 主として自分自身に関すること	B 主として人との関わりに関すること	C 主として集団や社会との関わり に関すること	D 主として生命や自然、崇高なも のとの関わりに関すること	その他	
233 日 科	1 年	194	28	34	80	25	27	B5判。 ・巻頭に道徳の授業における学び方を紹介するページ「道徳科について何を学ぶの？」を設定している。 ・学習指導要領に示されている内容項目順に教材を掲載している。 ・各教材の末尾に「考え、話し合ってみよう」として、深めようとする問いを設定している。 ・巻頭に「今と自分の振り返り」を設定し、「心の成長を振り返るページ」を設定している。
		194	30	37	70	23		
		194	35	32	68	21		

内容の程度・組織・取り扱い等の特徴	
<p>2 東書</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・教材末尾に生徒が考えを深めるための問いとして「考えよう」「自分を見つめよう」を設定している。 ・教材で扱う内容と関連したコラムで構成されたページ「PLUS」を設定している。 ・教材の学習を踏まえ、体験的な学習を通して考えを深めることができるページとして「ACTION!」を設定している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・各学期ごとに自らの学習を振り返る、切り取り式のページ「自分の学びを振り返ろう」を設定している。 ・各教科との関連を図れるよう、教材タイトル下部に関連する教材を示したマークを付している。 ・教材と関わりのある動画や資料等を掲載したウェブページ</p>
<p>17 教出</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・見通しをもって授業に取り組めるよう、教材冒頭に教材のテーマに関わる問いと、末尾に生徒の考えを深める問い「学びの道しるべ」を設定している。 ・教材と併せて、道徳的行為に関する体験的な学習や日常体験を想起して話し合うページ「やってみよう」を各学年に設定している。 ・教材で扱う内容と関連したコラムや書き込み欄で構成されたページを設定している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・1時間ごとの学びを記録するページ、学期ごとや1年間の学習の振り返りをすすめるページを設定している。 ・各教科等との関連を図れるよう内容項目ごとに教材を分類した一覧表を各学年の巻末に設定している。</p>

への二次元コードを裏表紙に示している。
・教材を読んで考えたことを書き込むことができる「つばやき」欄を教材脚注に設定している。
・情報モラルを扱った教材「情報モラルと友情」を各学年に設定している。
○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫
・いじめの問題を扱った教材をまとめたユニット「いじめのない世界へ」、生命尊重に関わる教材をまとめたユニット「いのちを考える」を各学年に設定している。
・キャリア教育、健康・防災・安全、自然・環境などの現代的な諸課題に関わる内容の教材を6個のテーマまでまとめた一覧表を掲載している。

・教材と関わりのある動画や資料等へのリンクを掲載したウェブページへの二次元コードを目次に示している。
・情報モラルを扱った教材を各学年に設定するとともに、コラムと記述欄で構成されたページ「情報とよりよくつきあう」を設定している。
○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫
・いじめの問題を扱った教材と内容を更に考えるきっかけとなるコラムで構成されたユニット「いじめに立ち向かう君に」を、各学年に設定している。
・社会の持続可能な発展、生命倫理、社会参画などの現代的な諸課題に関わる内容の教材を7個のテーマまでまとめた一覧表を掲載している。

内容の程度・組織・取り扱い等の特徴	
<p>38</p> <p>光村</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に見通しをもたせるためのあてと発問で構成された「考えよう」、多様な視点から考えを深める発問「見方を変えて」を教材ごとに設定している。 ・教材と関連する内容を扱った問いや書き込み欄で構成された「深めタイム」を各学年に設定している。 ・教材での学習を踏まえ、体験的な学習を通して考えを深めることができる活動例を設定している。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の学習の振り返りをはじめ、各学期ごとの振り返りを記述する切り取り式の「学びの記録」を各学年に設定している。 ・教材の内容と関わりのある各教科等の学習での学びを想起させる問い「つなげよう」を設定している。
<p>116</p> <p>日文</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験的な学習の展開例などを示した「学習の進め方」を各学年に設定している。 ・ねらいに迫る問い「考えてみよう」と、自分自身を振り返る問い「自分にプラスワン」を各教材に設定している。 ・教材内容の理解を図れるよう、内容と関わりのある人物や資料をまとめたコラムを掲載している。 <p>○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別冊「道徳ノート」には、教材ごとに4つの観点で自己評価する欄や、巻末に一定の期間で自分の学びを振り返り記述する欄を設定している。 ・教材の内容を広げ他教科等へ関連付けるコラムを掲載するとともに、各教科等との関連をまとめた一覧表を本冊及び別冊「道徳ノート」の巻末に掲載している。
	<p>・教材の朗読や内容と関わりのある動画等を掲載したウェブページへの二次元コードを教材タイトル下部、裏表紙及び巻頭に示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルに関わる教材とコラムや発問で構成されたユニット「情報モラルについて考える」を設定している。 <p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題に関わる教材と内容を更に見えるきっかけとなるページで構成されたユニット「いじめを許さない心について考える」を各学年に設定している。 ・国際理解、共生、環境をテーマに教材と関連のある内容のコラム「広げよう」を各学年に設定するとともに、教材を7個のテーマで分類した一覧表を掲載している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・教材と関わりのある動画や資料等を掲載したウェブページへの二次元コードを目次に示している。 ・情報モラルに関わる教材とコラムを関連付けて設定している。 ・別冊「道徳ノート」には、本冊に掲載されている教材と対応した構成で書き込み欄を設定している。 <p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの問題に関わる教材とコラムを、ユニット「いじめと向き合う」として各学年に設定している。 ・社会参画等をテーマに、複数の教材とコラムを組み合わせたユニットを設定するとともに、教材を10個のテーマで分類した一覧表を掲載している。

内容の程度・組織・取り扱い等の特徴	
224 学研	<p>ジへの二次元コードを目次に示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルに関する教材には、タイトル下や目次にマークを付すとともに、コラムを設定している。 ・考えたことを自由に書き込むことができる「メモ」欄を教材脚注に設定している。 <p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題に関わる教材、いじめ防止につながるコラムと問いで構成された特設ページ「クローズアップ プラス」を設定している。 ・SDGsやキャリア教育について、異なる内容の複数教材をユニットとして設定するとともに、7個のテーママで分類した一覧表を掲載している。
232 廣あかつき	<p>二次元コードを目次に示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルに関する教材には、巻末内容一覧にマークを付すとともに、各学年に特集ページを設定している。 ・別冊「道徳ノート」に、授業を通して感じたことや考えたことを記入することができる「学習の記録」を設定している。 <p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題に関わる教材と学びを深める資料「thinking」や特集ページ「いじめを許さない 私たちの心」を各学年に設定している。 ・生命尊重、人権尊重、福祉など現代的な諸課題と関わりのある教材や特集ページを設定している。

内容の程度・組織・取り扱い等の特徴	
<p>233 日科</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫 ・教材末尾に、生徒が考えを深めるための問いとして「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」を設定している。 ・教材文で扱う内容と関連したコラムで構成されたページ「話してみよう」を設定している。 ・教材の内容と関連のある生徒作文や詩などで構成されたページ「込められた想い」や、教材文の内容を更に深めるためのコラム「もっと知りたい」を設定している。 ○学習の基盤となる資質・能力を育成するための工夫 ・巻末に学習指導要領の内容項目と関連した1年間の自分の成長を振り返るページ「心の成長を振り返りましょう」、道徳科における学びを振り返るページ「私の道徳記録」を各学年に設定している。</p>
	<p>・各教科等との関連を図れるよう、教材を学習指導要領の内容項目順に掲載している。 ・情報モラルに関わる教材や併せて活用できるページを設定している。 ・教材文と併せて活用できるコラムと書き込み欄で構成された「書いてみよう」を設定している。 ○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するための工夫 ・いじめの問題に関わる内容を扱った教材やコラムを設定している。 ・環境、社会参画、遵法、生命の連続性といった現代的な諸課題に関わる内容を扱った教材やコラム「考えよう」を設定している。</p>

